

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人守山市社会福祉協議会

目次

I 事業の総括	3
II 事項別事業	4
1 法人の運営	4
2 善意銀行の運営	10
3 基金の運用	12
4 共同募金運動の推進	12
5 小地域福祉活動の推進	13
6 サロン活動の推進	23
7 ボランティア活動の推進	24
8 地域福祉権利擁護事業の実施	31
9 貸付資金等相談事業の実施	32
10 介護保険等事業の実施	33
11 障害者自立支援事業の実施	35
12 中部地区地域包括支援センターの受託	35

I 事業の総括

令和6年度は、「つながり 支え合って ともに生きるまちづくり」を基本理念とする第4次守山市地域福祉活動計画の3年目として、「地域共生社会」の実現に向け、関係機関・団体の皆さまと連携しながら、市社協職員が積極的に地域に出て、地域福祉部、介護事業部、中部地域包括支援センターがしっかりと連携し、各事業の推進に取り組みました。

地域福祉部では、地域福祉のさらなる推進を図るため、とりわけ次の3つの事業を重点事業として位置付けて取り組みました。①地域活動支援コーディネーター配置による学区社協との連携強化については、毎月開催した学区社協・市社協事務局会議を軸にして、各学区の現状や課題を共通認識することに努めました。また、各学区社協会長、副会長、民児協会長が一堂に会する学区社協連絡会議を2回開催し、意見交換とともに学区社協に関する研修を実施することができました。さらに、各学区社協の会議や事業に積極的に出向くことで、情報提供・連絡調整に努めました。

②ひきこもり支援の強化については、専門職の相談員(認定カウンセリング心理士)の配置により、より専門的な対応が可能となりました。また、ひきこもり支援のための実態調査を実施した結果、当事者やご家族等から貴重なご意見が寄せられ、これらを踏まえて、今後の居場所づくりや就労等の具体的な支援に向けた歩みを着実に進めてまいります。

③福祉教育の推進については、「福祉活動推進校指定」の取組で、市内小中学校13校のうち8校を推進校として指定させていただき、市社協が中心となり福祉団体とのつながりを支援し学校担当者との間で福祉教育に対する理解と認識を深く共有することができました。「子ども福祉委員」では、市内市立中学校の生徒を対象に呼びかけたところ、2校から10名の参加を得ました。事業終了後も、ボランティア活動への参加を案内し、継続して活動に関わるなど、自主的な行動につながっています。

この他、物価高騰で日々の生活が厳しくなる中、生活困窮者支援の取組を強化し、フードパントリー(食料の無料配付と困りごと相談会)を計3回実施しました。また、地域のボランティア活動支援として、活動のきっかけづくりとなるようテーマを絞った内容で「はじめの一步講座」を開催したところ、多くの参加者を得ることができ今後のボランティア事業の企画に大いに参考となる成果を得ました。

今後とも、市社協職員が地域に出て現状を知り、課題解決に向けて一つ一つの取組を丁寧にかつ熱意を込めて進めてまいります。

介護事業部では、新たに制定された介護職員等処遇改善加算を取得し、全事業の職員の処遇改善を実施しました。これにより職員の定着や新規採用条件が向上し、充実した職員体制が構築でき地域の利用者に安定した専門的サービスの提供が可能となりました。また、事業継続計画を見直し、感染症発生時や災害時でも良質な介護サービスができるよう体制を整えました。

①通所介護事業では、市内の事業所で対応困難な重度利用者の受入を積極的に進め、利用者数が増え稼働率も向上しました。個別機能訓練については利用者ご本人やご家族の要望を訓練計画に反映することで、利用者の意欲が向上し計画や評価も家族が理解しやすくなりました。また、清掃業務を外部へ委託することで職員負担を軽減し多くの重度利用者の受入ができました。さらに、看護職と介護職の連携を深め利用者が安心して入浴、食事などができる体制を強化しました。

②認知症通所介護事業では、市内の居宅介護支援事業所を訪問し、利用者の状況やデイサービスの活動内容などを伝えるとともに、季節毎に活動状況などを掲載した機関誌で情報を発信しました。また、全利用者の個別対応台帳を作成し情報を共有することで適切な対応を行いました。さらに利用者宅訪問を定期的の実施し、デイサービスでの様子や口腔ケアの状況を伝え、同時に家族の要望を伺いました。

③居宅介護支援事業では、重要な業務の一つである介護事業部の営業的役割について、訪問系に対して概ね自事業所の紹介ができ、紹介率も向上し情報の共有も円滑に行えました。通所系については前年比と変わらず推移しているため、情報交換を頻繁に行えるようにしました。病院との連携については、訪問や電話で情報交換や介護事業部の紹介などを行い各事業の特色を伝えました。

④訪問介護事業では、職員の復職(育休)や変形労働時間制の継続により職員体制が充実したことから、利用者のあらゆるニーズに対応できる体制になりました。また、全職員の介護技術が向上し、急な依頼や困難ケースに対

応することも可能となりました。さらに、重度の訪問ケースや看取り介護等にも技術力のある職員を派遣することができ、市内のケアマネジャーから信頼を得ることができました。個別研修計画に基づく職員研修は、外部研修への参加や事業所内研修を重ねたことにより介護技術が向上し、介護力も平均化し大きな成果がみられました。

⑤訪問看護事業では、看護師、理学療法士を計画的に採用し職員体制を整えたことにより、大幅に増えている新規利用者の対応ができました。これにより介護保険、医療保険ともに予算を上回る収入増となりました。また、看護師の増員により、急な依頼や医師の特別指示による多くの訪問要請にも対応できました。リハビリに関しては利用者が前年の2倍となり、リハビリ職が充実できたことにより難病や障害などの医療保険対象者が増加し、新たなケアマネジャーからの紹介も増えています。ICTについては移行から2年目となり、業務の効率化や改善につながり、滋賀県の医療介護連携ネットワークに加入して医療機関との情報共有や連携を進めており、利用者のサービス向上を目指しています。

中部地区地域包括支援センターでは、新たに認知症地域支援推進員及び事務員を増員して体制を強化し、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」のため、認知症に対する正しい知識の普及啓発のために自治会や地域の団体、企業などに認知症サポーター養成講座を開催しました。また、チームオレンジ活動支援として吉身東町、石田町でのチームオレンジの立ち上げ・活動の支援を行いました。地域の社会資源の把握のため地域のサロンに足を運び、現状把握に努めました。

今日的課題である「高齢者のペット飼育問題」について、重層的支援会議や地域ケア個別会議など様々な事例検討の場で問題提起を行いました。また、市社協事務局と連携し「守山人と動物の福祉を考える会」を継続し、関係者や関係機関と連携し不足している社会資源の創出に向けて検討を重ねています。

II 事項別事業

1 法人の運営

(1) 組織の運営

ア 理事会

年月日	協議事項
令和6年6月7日(金) 理事12名出席 監事2名出席	議第9号 令和5年度 事業報告ならびに決算の承認について 議第10号 評議員選任候補者の推薦について 議第11号 副会長の選定について 議第12号 定時評議員会の招集について 報告事項 ・令和5年度日本赤十字社滋賀県支部守山市地区事業報告決算 ・令和5年度滋賀県共同募金会守山市共同募金委員会事業報告決算
令和7年3月6日(木) 理事13名出席 監事2名出席	議第1号 令和6年度 社会福祉事業会計 補正予算第1号 議第2号 令和7年度 事業計画について 議第3号 令和7年度 社会福祉事業会計予算について 議第4号 令和7年度 公益事業会計予算について 議第5号 評議員選任候補者の推薦について 議第6号 令和7年度 役員等賠償責任保険への加入について 議第7号 定款の一部改正について 議第8号 評議員会の招集について 報告事項 ・令和7年度日本赤十字社滋賀県支部守山市地区予算について ・令和7年度滋賀県共同募金会守山市共同募金委員会予算について

イ 監査の実施

年月日	協議事項
令和6年5月29日(水) 監事2名出席	令和5年度 守山市社会福祉協議会事業報告 令和5年度 守山市社会福祉協議会会計決算(社会福祉事業・公益事業) 令和5年度 守山市共同募金委員会事業報告 令和5年度 守山市共同募金委員会会計決算 令和5年度 守山市日本赤十字社滋賀県支部守山市地区決算

ウ 評議員会

年月日	協議事項
令和6年6月24日(月) 評議員12名出席 監事2名出席	議第5号 令和5年度事業報告ならびに会計決算の承認 議第6号 理事および監事の選任について
令和7年3月18日(火) 評議員13名出席	議第1号 令和6年度 社会福祉事業会計 補正予算第1号 議第2号 令和7年度 事業計画について 議第3号 令和7年度 社会福祉事業会計予算について 議第4号 令和7年度 公益事業会計予算について 議第5号 定款の一部改正について 報告事項 ・令和7年度日本赤十字社滋賀県支部守山市地区予算について ・令和7年度滋賀県共同募金会守山市共同募金委員会予算について

(2) 運営管理

ア 経営会議の開催

構成	会長、副会長、顧問、事務局長、介護事業部長、地域支援課長、地域支援課長補佐、ボランティアセンター所長、総務課長、総務課長補佐、中部地区地域包括支援センター所長
開催頻度	原則月1回開催

イ 管理者会議

構成	会長、事務局長、介護事業部長、地域支援課長、地域支援課長補佐、ボランティアセンター所長、総務課長、総務課長補佐、中部地区地域包括支援センター所長
開催頻度	原則月1回開催

ウ 第三者委員会

年月日	内容
令和6年4月26日(金) 委員4名出席	令和5年度各事業の事例報告

エ 研修等の実施

[職員職場内研修]

実施日	参加者数	内容
令和6年9月20日(金)	60名	健康教室「元気に働くためのゆっくりストレッチ」 講師：(株) COSPA ウェルネス 健康運動指導士 松永謙二郎 氏
令和6年11月1日(金)	21名	認知症について学ぶ 認知症の人とともに暮らすまちを目指して～ 今、私たちができること～ 講師：中部地区地域包括支援センター 所長 山口 勉 氏 / 河合真希 氏 認知症キャラバンメイトの皆さま

令和7年2月28日(金)	28名	人権研修 「身近な人権問題について考える～誰かの事じゃない～」 講師：守山市人権教育啓発講師団 清水佐代子 氏
令和7年3月25日(火)	28名	個人情報保護法および諸法改正について 講師：新谷労務管理事務所 新谷文孝 氏

(3) 広報活動

ア 広報誌「もりやま社協だより」の発行

引き続き、「社協だよりを一人でも多くの方に手に取っていただきたい」を基本に、各記事の目的を明確に、分かりやすく、インパクトある誌面づくりに努めました。中でも特集記事を毎号企画し、社協事業の啓発に注力しました。

- ・発行部数：7月、10月 31,650部 1月、4月 31,800部 それぞれ第2木曜
- ・規格：A4サイズ、両面印刷12ページ、2色刷り(表紙および裏表紙はフルカラー)

号数	主な内容
第125号 (令和6年7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別寄稿「暮らしを地域に取り戻そう」大谷大学名誉教授 山下憲昭氏 ・令和5年度 守山市社協事業報告・決算報告 ・子どもの育ち応援募金 令和5年度目標達成 ・守山市社協の物資による生活支援事業/ひきこもりサポーター養成連続講座 ・ボランティアはじめの一步講座/令和6年度お話し相手ボランティア養成講座 ・守山市社協事務局 新入職員紹介
第126号 (令和6年10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・守山市社協は、ひきこもり支援の取組を進めます/「正しい理解と地域の絆・支え合い」岡山県立大学特任准教授 周防美智子氏 ・守山市社会福祉協議会 会長表彰/令和6年度もりやま地域共生大会開催 ・社協ほっとホット福祉大賞2024入賞作品決定 ・赤い羽根共同募金運動がはじまります/共同募金の活用例/歳末たすけあい激励金を交付します/ふとん丸洗いサービスのご案内 ・令和6年度 守山市社会福祉協議会 特別賛助会費・福祉施設会費・福祉関係団体費にご協力いただきありがとうございます/「いきがい活動ポイント事業」に参加しませんか? ・守山市社協善意銀行「チャレンジ応援事業」募集
第127号 (令和7年1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・新春企画「これからの守山市地域福祉を展望して」 守山市自治連合会会長 石田俊治氏、守山市健康福祉部次長 池田初美氏、 守山市社会福祉協議会会長 川那辺守雄 ・令和6年度 赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金にご協力いただきありがとうございます ・子どもの育ち応援募金にご協力をお願いします/能登半島地震支援・和太鼓演奏会in守山開催 ・「PayPay」による募金ができるようになりました/居住支援法人をご存じですか? ・もしもに備える命のバトン ・守山市社協事務局一同 謹んで新年のお慶びを申し上げます
第128号 (令和7年4月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 守山市社協事業計画・予算の概要 ・令和7年度 市社協会費および日本赤十字社活動資金のご協力のお願い/5月12日は、「民生委員・児童委員の日」 ・令和6年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金実績報告 ・社協ほっとホット福祉大賞2025 作品募集 ・令和7年度 ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険のご案内

※通年コーナーとして、子育てサロン紹介、子ども食堂紹介、Care News (ケアニュース)、社協心配ごと相談、善意銀行だより、フォトスケッチ、簡単スピードクッキング、チャレンジクイズ

イ インターネットホームページの充実

より市民に安心してご覧いただけるよう、セキュリティを強化しました。また令和4年度から本格的に稼働したSNSと連携が容易にできるよう、機能強化を行いました。

[ホームページの閲覧数]

(単位：件)

年度	実閲覧数	(内訳)		
		パソコン	モバイル端末	タブレット
R2	22,379 (100%)	11,312 (51%)	10,469 (47%)	598 (2%)
R3	23,546 (100%)	12,023 (51%)	11,057 (47%)	466 (2%)
R4	27,404 (100%)	13,202 (48%)	13,785 (50%)	417 (2%)
R5	30,247 (100%)	13,675 (45%)	16,244 (54%)	328 (1%)
R6	38,705 (100%)	17,870 (46%)	19,755 (51%)	1,080 (3%)
R6-R5比較	8,458	4,195	3,511	752

ウ SNSの開設

より幅広い年代の方々に情報を届けるため、フェイスブックページ、インスタグラムおよびツイッターを通じて、タイムリーな情報発信に努めました。

[開設日、フォロワー数]

SNS種別	フェイスブック	インスタグラム	エックス	
開設日	R3. 6. 9	R3. 11. 15	R4. 1. 10	
フォロワー	フェイスブック	インスタグラム	エックス	合計
R4. 3. 31	104	60	5	169
R5. 3. 31	152	449	306	907
R6. 3. 31	184	826	527	1,537
R7. 3. 31	228	1,051	689	1,968
R6-R5増減	44	225	162	431

[URL等]

フェイスブック	インスタグラム	エックス
https://www.facebook.com/moriyamashakyo	https://www.instagram.com/moriyamashakyo/	https://twitter.com/moriyamashakyo
 facebook	 Instagram	 X

エ 社協啓発冊子の作成

- ・令和5年度事業報告・決算書の作成 100部 A4版・175頁
- ・令和6年度事業計画・予算書の作成 200部 A4版・75頁

オ 社協ほっとのホット福祉大賞

地域福祉に関する心温まる写真や川柳を募集し、すぐれた作品を表彰し、また作品を展示して多くの方に鑑賞していただくことで、地域福祉に対する理解の推進につなげることを目的に実施しました。

(募集)

チラシを全戸配付および保育園幼稚園こども園に加え、小中学校・高等学校へも配付し、啓発の充実に努めました。

	川柳部門	写真部門
R2	応募 74名・100作品	応募 46名・76作品
R3	応募 74名・191作品	応募 59名・91作品
R4	応募113名・270作品	応募 85名・132作品
R5	応募124名・352作品	応募 97名・173作品
R6	応募102名・279作品	応募 79名・128作品

(選考)

特別審査委員により1次選考を行い、40作品に絞り込み、会長、副会長、顧問、特別審査委員、外部審査委員5名による選考委員会を開催し、各部門から最優秀賞1点、優秀賞2点、入選3点、特別審査委員賞1点、ホッととして賞5点を選出。その後地域福祉推進員よりはあーと賞1点、市民児協よりミンジー賞1点を選出しました。

選考委員会	令和6年8月22日(木)	特別審査委員	写真部門：水越 貞範氏
	9:30～11:00 すこやかセンター	外部審査委員	川柳部門：笠川 嘉一氏 辻 ひとみ氏、松山 茂氏、岸 亜胡氏、 殿村 美月氏、筒井 和章氏

(作品展示)

もりやま地域共生大会に合わせて8日間の期間を設け、作品展示会を開催しました。できるだけ多くの方々にご来場いただけるよう応募者以外にも案内状の配布をするなど、集客に工夫しました。会場内では、募金活動の一環として、事業の財源である共同募金啓発グッズの販売も行いました。

また、入賞作品ポスターを作成し、公共施設をはじめ、市内の関係事業所、応募関係者など約50カ所に設置していただきました。

社協ほっとのホット福祉大賞 作品展示会	令和6年11月23日(土・祝)～ 12月2日(月)	守山市民ホール小ホールおよび 展示室
(内容) ・応募全作品の展示 ・共同募金コーナー設置		

カ 「広報もりやま」への社協記事掲載

毎月15日発行号に、「社協から今月のお知らせ」「ある社会福祉士のひとこと」と題して記事を掲載しました。

(4) 顕彰

社協活動の推進、地域福祉をはじめとする社会福祉の向上に寄与し、その功績が著しい方々を、もりやま地域共生大会において、会長が表彰し、または感謝の意を表するとともに、社協ほっとのホット福祉大賞の入賞作品の表彰を行うことにより、地域福祉推進の機運醸成に努めました。

選考委員会	令和6年8月19日(月)	審査委員：市社協会長、学区社協代表者、市民児協代表者、 福祉関係施設代表者、市福祉事務所代表者
-------	--------------	--

ア 社会福祉協議会会長表彰・感謝

・社会福祉功労 (27件) ・育成功労 (4件) ・感謝 (6件)

イ 社協ほっとのホット福祉大賞

・写真部門 (14件) ・川柳部門 (14件)

(5) 会員の加入促進と財源確保

ア 会費収納実績 (単位：円)

区分	一般会費	施設会費	団体会費	賛助会費	特別賛助会費	計
R2	3,335,527	64,000	30,000	3,004,000	915,000	7,348,527
R3	3,350,280	80,000	26,000	2,955,000	905,000	7,316,280
R4	3,307,662	61,000	23,000	2,717,000	830,000	6,938,662
R5	3,244,669	69,000	29,000	2,655,000	755,000	6,752,669
R6	3,242,468	78,000	33,000	2,563,000	935,000	6,851,468
R6-R5比較	△2,201	9,000	4,000	△92,000	180,000	98,799

イ 賛助会員の加入状況 (単位：口)

学区	守山	吉身	小津	玉津	河西	速野	中洲	他	計
R2	258	265	514	302	1,005	432	134	94	3,004
R3	287	286	539	308	954	375	104	102	2,955
R4	268	286	466	283	941	357	102	14	2,717
R5	278	276	458	267	942	328	102	4	2,655
R6	254	243	516	246	842	353	102	7	2,563
R6-R5比較	△24	△33	58	△21	△100	25	0	3	△92

ウ 社協だより広告収入

学区	広告枠	掲載枠	充足率	申込件数	計
R2	48枠	48枠	100%	44件	480,000円
R3	48枠	51枠	106%	41件	510,000円
R4	48枠	48枠	100%	36件	480,000円
R5	48枠	48枠	100%	36件	480,000円
R6	48枠	48枠	100%	40件	480,000円

エ ステッカーの作成

特別賛助会員、施設会員向けに会員ステッカーを作成し、会員の拡充に努めました。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
事業所	134件	131件	123件	112件	136件
施設	23件	33件	23件	30件	36件
合計	157件	164件	146件	142件	172件

(6) 災害義援金および海外救援金の受付および送金

ホームページ等で受付口座等の情報提供を行い、また募金箱を事務所に設置しました。

とりわけ、令和6年能登半島地震災害義援金は市公共施設での募金箱、窓口での受付は日本赤十字社に統一して実施しました。

ア 災害義援金

災害義援金の名称	金額(円)	取り扱い
令和6年7月大雨	4,210	共同募金
令和6年能登豪雨	9,657	共同募金
大船渡市赤崎町林野火災	2,305	共同募金
令和6年能登半島地震	1,159,608 (累計5,783,742)	日本赤十字社 1,094,696 共同募金 64,912
令和6年7月25日からの大雨災害	155	日本赤十字社
令和6年9月能登半島大雨災害	80,938	日本赤十字社

※能登半島地震は市内各所に募金箱設置し、募金先を日本赤十字社に統一して実施。共同募金は共同募金会を指定された場合のみ送金。日本赤十字社は他の義援金募金箱の設置なし。

イ 日本赤十字社海外救援金

海外救援金の名称	金額(円)	備考
ウクライナ人道危機救援金	10,473	
2024年台湾東部沖地震救援金	20,000	

(7) その他の活動

ア 学生、社会人等の実習の受入れ

受入部署	件数	人数	実習名等
地域福祉部	2校	2名	社会福祉士受験資格実習
居宅介護支援事業所	1件	2名	介護支援専門員 実務研修事業所実習
訪問看護事業所	2件	10名	看護学校学生 訪問看護実習

イ 日本赤十字社滋賀県支部守山市地区の運営

活動資金の募集(自治会、赤十字奉仕団、法人)を行うとともに、赤十字奉仕団の会議や研修会等に参加しました。

ウ 戦没者追悼法要事業への助成

戦没者遺族会主催の追悼事業へ助成を行いました。

エ 能登半島地震復興支援和太鼓演奏会 in 守山

守山市内のある市民と和倉いでゆ太鼓保存会の会員との交流がきっかけで実施が計画された和太鼓演奏会に主催者として加わり、演奏会の成功に向けて全面的に支援しました。

当日は、能登半島から和太鼓団体 14 団体と滋賀県内 4 団体が一堂に会し、和太鼓の力強い演奏と復興支援のための義援金募集や支援グッズの販売等を行い、市民の皆さんから多くの支援金が寄せられました。

実施日：令和 7 年 3 月 30 日(日)11:00~16:00

場 所：モリーブ セントラルコート

内 容：和太鼓演奏、防災講座、和倉温泉被災状況パネル展示、七尾市伝統工芸品『花嫁のれん』『ミニ奉燈』展示、アニメ「君は放課後インソムニア」等身大パネル展示、わくたまくん、とうはくんグッズ販売、義援金の募集など

2 善意銀行の運営

寄附者の意思に沿って、福祉のために活用(運用)することを目的とした制度で、温かい善意(寄附)を預託として受け入れ、払い出しを行いました。また、もりやま社協だよりに「善意銀行だより」コーナーを設けご紹介しました。

ア 預託状況

[金員]

年度	一般寄附		指定寄附		寄附物品の 金銭換算		計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
R 2	83件	1,265,999	9件	250,000	1件	326,400	93件	1,842,399
R 3	87件	2,423,833	8件	904,500	1件	152,400	96件	3,480,733
R 4	74件	2,432,560	8件	1,688,000	2件	154,000	84件	4,274,560
R 5	48件	1,208,956	8件	665,978	1件	61,600	57件	1,936,534
R 6	39件	680,773	8件	1,303,646	0件	0	47件	1,984,419

[物品]

年度	件数	備 考
R 2	103件	米、野菜、食料品、衣類、日用品など
R 3	176件	米、野菜、食料品、衣類、日用品など
R 4	168件	米、野菜、食料品、衣類、日用品など
R 5	187件	米、野菜、果物、食料品、おむつ、衣類、日用品、寝具、金券、小型家電など
R 6	276件	米、野菜、果物、食料品、衣類、寝具、日用品、雑貨、介護用品、ベビー・キッズ用品、ペットフード、ペット用品、金券など

イ 払出状況

[金員]

(単位：円)

事業項目	R2	R3	R4	R5	R6	件数
寄附者による用途指定 寄附による払出し	250,000	485,000	2,108,000	665,978	290,850	17件
寄附物品の金銭換算	326,400	152,400	154,000	61,600	0	—
全国健康福祉祭 参加者激励金贈呈	新型コロナ で大会中止	新型コロナ で大会中止	14,000	14,000	16,000	8件
守山学園生卒園小学校 入学祝品贈呈	33,300	17,160	35,640	21,150	43,450	5件
火災見舞金支給	0	50,000	80,000	50,000	0	0件
善銀だより広報分担	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	1件
生活困窮世帯食糧提供	—	—	—	108,250	11,683	1件
単位民児協支援資金	0	14,000	55,000	15,000	10,000	7件
チャレンジ応援事業	—	—	—	—	350,000	7件
お米支援事業	—	—	—	—	386,400	298件
学区社協活動助成	570,000	570,000	700,000	700,000	—	—
子ども食堂実践者交流	—	—	20,825	—	—	—
自治会健康福祉部会 設置・充実助成	—	—	—	630,000	—	—
その他事業	243,820	171,211	—	—	—	—

[物品]

払出先	件数	内容
生活困窮世帯	163件	食料品、おむつ、衣類、日用品、雑貨、衛生用品、寝具など
子ども食堂	78件	米、野菜、果物、食料品、日用品、雑貨、もりやまあるあるカルタなど
福祉施設	94件	米、野菜、果物、食料品、米粉、おむつ、日用品、雑貨、ベビー・キッズ用品、金券各種、業務用扇風機、自転車など
その他団体等	41件	米、食料品、おむつ他介護用品、日用品、雑貨、文具、金券各種、食器類、ベビー・キッズ用品、ペットフード、ペット用品など
善意のひろば (毎月実施)		米、食料品、衣類、日用品、衛生用品、雑貨、文具、おむつ他介護用品、赤ちゃん用品など
計	376件	

ウ フードドライブポストの食料回収・活用

令和6年5月から、滋賀県社協「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」と連携し、パロー守山駅東店と同守山小島店の2店舗に設置されたフードドライブポストの食料を月2回収し、善意のひろばや生活困窮世帯、福祉施設への支援に活用しました。

提携店舗等	食品点数	回数
パロー守山駅東店	319点	21回
パロー守山小島店	587点	20回

エ 善意のひろば

市民等から寄付いただいた物品を、経済的に困窮している世帯にお持ち帰りいただけるよう、すこやかセンターに「善意のひろば」コーナーを設けました。

開設日	開設日
令和6年5月27日～5月31日(5日間)	令和6年12月23日～12月27日(5日間)
6月24日～6月28日(5日間)	令和7年1月20日～1月24日(5日間)
8月26日～8月30日(5日間)	3月3日～3月7日(5日間)
10月28日～11月1日(5日間)	3月24日～3月28日(5日間)
11月8日～11月29日(16日間)	

オ 善銀チャレンジ応援事業

市民等からの寄付金を活用し、守山市内の地域課題を解決するために活動している団体の活動を応援するため、チャレンジ応援事業として、助成を行いました。

R6助成団体：7団体に350,000円を助成しました。

[チャレンジ応援事業実施団体]

年度	助成団体	事業内容	助成額(円)
R6	ひとり親カフェひまわり	ひとり親カフェ	50,000
	レインボー	包括的性教育に関する座談会・講演会など	50,000
	Child's Place 三喜	学習支援 無料塾・宿題塾の実施	50,000
	フードバンクびわ湖	ひとり親家庭対象フードパントリー	50,000
	子ども食堂ひがしっこ	子ども食堂(毎月第2土曜)	50,000
	子ども食堂あおぞら	子ども食堂(毎月第4土曜)	50,000
	あじさい園	あじさい園と地域の交流など	50,000

3 基金の運用

福祉基金およびボランティア基金の運用益を地域福祉事業、ボランティア活動事業に充てました。また、守山ほたるの子基金の一部を取り崩して、ひきこもり支援等の事業に充てました。

ア 基金利息 69,400円

イ 基金残高

・福祉基金 105,194,115円

・ボランティア基金 57,063,418円

・中村一彦・鈴子守山ほたるの子基金 2,734,901円(取崩額 2,364,000円)

4 共同募金運動の推進

滋賀県共同募金会守山市共同募金委員会事務局として運動の推進にあたりました。

[募金実績]

(単位:円、%)

募金種別	R6			R5	対前年度比
	目標額	実績額	目標達成率	実績額	
一般募金	9,700,000	9,377,149	96.7	9,596,630	97.7
歳末たすけあい募金	3,150,000	3,311,254	105.1	2,861,599	115.7
子どもの育ち応援募金	500,000	551,289	110.3	591,289	93.2
計	13,350,000	13,239,692	99.2	13,049,518	101.5

[募金方法別実績]

(単位:円)

募金種別	一般募金	歳末たすけあい募金	テーマ型	合計
戸別募金	7,493,431	2,711,615	171,435	10,376,481
街頭募金	319,585	20,106	0	339,691
法人・施設・団体・職域募金	467,636	560,733	164,000	1,192,369
学校募金	117,498	0	0	117,498
イベント募金	101,945	0	0	101,945
個人募金	164,689	8,800	10,000	183,489
その他募金	712,365	10,000	205,854	928,219
合計	9,377,149	3,311,254	551,289	13,239,692

[配分実績]

(単位：円)

配分先	一般募金	歳末たすけ あい募金	合計	事業内容
市社会福祉協議会	3,250,564	1,568,142	4,818,706	社協ほっと♡ホット福祉大賞 ホームページ・SNSの運営 子ども食堂実践者交流研修 地域共生大会 多様な主体による居場所づくり ボランティアグループへの助成 災害VC体制整備 生活支援ボランティア活動 福祉活動推進校設置 ボランティア「はじめの一步」講座 ふとん丸洗いサービス 歳末たすけあい激励金の交付 ひとり暮らし高齢者への年賀状送付
自治会および学区 社会福祉協議会	3,234,510	497,000	3,731,510	学区社協活動補助 学区社協課題解決活動助成 社協だより配付に伴う学区交付金助成 自治会子育てサロン助成 学区社協歳末活動助成 学区社協共同募金運動啓発費 飛び出しもりびーの配付（今年度新たに 112本作成、115本配付）
ボランティアグル ープおよび福祉関 係団体	50,000	360,000	410,000	ボランティアグループ7団体、福祉関係団 体3団体に助成
計	6,535,074	2,425,142	8,960,216	

[テーマ型募金]

子どもの育ち応援募金	148,981	子育て応援フォーラムの開催、子ども福祉委員事業（計5回の活動を実施）、[再掲]飛び出しもりびーの配付（今年度新たに112本作成、115本配付）
------------	---------	---

5 小地域福祉活動の推進

(1) 地域づくり事業（市受託事業）

地域づくりコーディネーター1名を配置し、地域共生社会の実現に向けた地域づくりおよび地域の様々な関係者がつながる場づくりを推進しました。

ア 自治会の福祉活動の推進（助成金活用の促進）

(ア) 自治会健康福祉部会設置および活動充実強化事業費助成金の交付実績

	R2	R3	R4	R5	R6
自治会	17	16	21	22	29
交付額（円）	470,000	460,000	590,000	630,000	810,000

(イ) 見守り支え合い活動事業助成金の交付実績

	R2	R3	R4	R5	R6
実施団体	5学区 34自治会	4学区 38自治会	4学区 38自治会	4学区 40自治会	5学区 41自治会
交付額（円）	1,665,800	2,122,200	2,172,800	2,116,000	2,822,200

イ 地域ぐるみ見守り支え合い活動登録事業（見守り協定）の推進

地域のさまざまな事業者と連携することで、地域での異変等を早期に発見し、関係機関等へ適切につながることで、地域ぐるみの見守り支え合い活動の輪を充実しています。

・令和6年度登録件数：3事業者（総登録件数23件）

ウ 子ども食堂の普及・啓発

(ア) 子ども食堂実践者交流会

滋賀県社協に登録のある市内の子ども食堂（15団体）を対象に実践者の交流会を開催しました。

開催日	参加者	内容
令和6年6月26日(水)	10名	各子ども食堂の情報交換、子ども食堂ネットワークの説明、情報提供
令和7年3月4日(火)	16名	食品衛生講習会、子ども食堂運営に関するアンケート結果報告、情報提供、意見交換

(イ) 立ち上げ支援

新規に子ども食堂を立ち上げたい、立ち上げたという団体に対し、滋賀県社協の開設支援助成を紹介、推薦を行いました。

	R3	R4	R5	R6
立ち上げ支援食堂数	2	1	2	2
市内の子ども食堂把握数	10	11	13	15

※R6：まねきねこ食堂、小津ふれあい食堂

エ ひきこもり支援

下記「(11) ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり」のとおり

オ その他

地域でのサロンやつどい等の実施にあたり参考にしてもらう「居場所づくりガイドブック」を作成（令和7年4月発行）しました。

(2) 生活支援体制整備事業（市受託事業）

地域住民による支え合いの体制づくりを促進する事業に取り組みました。

ア 協議体の取組実績

・第1層協議体

地域	実績
市域全体	会議開催なし（今後必要に応じて開催）

・第2層協議体

地域	実績
守山学区	本年度に開始した「おとこの料理教室」を3回実施し、今後、自治会へ普及できる可能性があることを確認された。
吉身学区	次年度から新たに自治会による見守り活動を推進し、その中で「ごみ出しボランティア」の利用増を図ることとされた。
小津学区	「行きたくなる居場所づくり」をテーマに協議の結果、今後、学区独自のポイント制度の創設を検討されることになった。
玉津学区	「地域支え愛送迎活動」を実施する中、自治会のサロン等への送迎活動実施への提案があり、対応できるよう調整された。
河西学区	生活支援ボランティア「ささえ愛ネット河西」の利用が前年度の倍増となり、効率的な実施に向けた検討をされることになった。
速野学区	自治会非加入者の見守り等についての話し合いを多くされ、今後の学区や地域による対応について検討され始めた。
中洲学区	次年度からの学区地域福祉活動計画を検討する中、避難行動要支援者等の個別対応等について整えていくことを確認された。

- イ 生活支援コーディネーターの配置
 - ・第1層協議体：1名（本会職員）
 - ・第2層協議体：7名（各学区の地域福祉推進員が兼務）

- ウ 生活支援コーディネーター会議の開催
毎月開催の学区社協・市社協事務局会議において、各協議体の情報共有を図りました。

- エ 守山市生活支援サービス一覧の作成
本会ホームページで公開しており、随時更新しています。令和6年12月、従来の情報を基に「利用する編」と「参加する編」に分けました。

(3) 地域活動支援コーディネーターの配置

学区社協との連携を一層強化するため、新たに地域活動支援コーディネーター1名を配置しました。

これにより、毎月開催した学区社協・市社協事務局会議を軸にして、各学区の現状や課題を共通認識することに努めるとともに、各学区社協会長、副会長、民児協会長が一堂に会し、意見交換や学区社協に関する研修を実施することができました。さらに、各学区社協の会議や事業に積極的に出向くことで、情報提供・連絡調整に努めるとともに、学区社協事務局への支援や学区社協理事との懇談会などについて、各学区の地域福祉推進員と連携を図りながら取り組みました。

ア 学区社協・市社協事務局会議

- (出席者) 学区社協：地域福祉推進員、会館長、地域づくり推進員(福祉担当)
- 市社協：事務局長以下

開催日	4/24(水)、5/17(金)、6/21(金)、7/19(金)、8/26(金)、9/20(金)、10/18(金)、11/15(金)、12/20(金)、1/17(金)、2/13(木)、3/21(金)
主な協議内容	<p>【毎回】 ・各学区社協および第2層協議体の取り組みトピックス</p> <p>【その他】 ・学区社協および自治会への助成金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区社協・市社協懇談会について ・福祉協力員の活動状況について ・もりやま地域共生大会について

イ 学区社協連絡会議

- (出席者)学区社協：会長、副会長、民児協会長、事務局
- 市社協：会長、事務局長以下

開催日	参加者	内容
令和6年8月26日(月)	47名	会議：各学区の地域福祉活動計画の特徴や進捗状況について、市社協からの情報提供
令和7年2月13日(木)	48名	研修：「これからの学区社協のあり方を考える」 講師：龍谷大学社会学部現代福祉学科特任教授 山口浩次氏

(4) 地域福祉推進員の活動推進

学区社協会長の推薦により委嘱する地域福祉推進員（7名）とともに地域づくりの推進や学区社協活動の活性化を図りました。（上記参照）

(5) 福祉協力員の活動推進

より身近な地域（自治会）での福祉活動を推進し、また学区社協の一員として学区の福祉を高めるため、福祉協力員を委嘱し、各地域で活動されました。

また、活動助成金（一人につき5,000円）を各学区社協へ交付しました。

ア 学区別福祉協力員数

(単位：名)

学区	R2	R3	R4	R5	R6
守山	52	54	56	52	52
吉身	35	36	34	34	36
小津	43	44	42	44	41
玉津	25	25	27	27	25
河西	57	55	55	51	51
速野	28	32	32	32	31
中洲	14	14	14	14	13
計	254	260	260	254	249

イ 研修の開催ほか

(7) 学区代表者会議

月 日	人数	内 容
令和6年6月11日(火)	7名	全員研修会の内容の検討

(イ) 全員研修会

月日・会場	人数	内 容
令和6年7月11日(木) 守山市民ホール	97名	テーマ：地域ぐるみの見守りを考えよう 講 師：守山市社会福祉協議会職員 その他：研修の資料や動画を後日閲覧できるようにしました。

(ウ) 福祉協力員だよりの発行（市全体の取り組みの情報提供など）

(エ) 全員アンケート調査（WEB回答可）の実施

(6) 学区社協理事との懇談会の開催

今年度も見守り活動の意義や大切さを中心に、地域で今起こっている実際の事例を基に、率直な意見交換を行いました。

学区	月 日	人数(総勢)	内 容
守山	令和6年9月18日(水)	29名	1 地域で！みんなで！見守り活動 2 各圏域の地域包括支援センターからの事例 3 意見交換
吉身	令和6年9月9日(月)	27名	
小津	令和6年10月1日(火)	28名	
玉津	令和6年10月2日(水)	21名	
河西	令和6年10月4日(金)	36名	
速野	令和6年10月9日(木)	33名	
中洲	令和6年10月6日(金)	27名	

(7) 学区社協への助成・支援

ア 小地域福祉活動推進事業助成金

(7) 学区割・自治会数割による助成金 1,400,000円（学区割10万円+自治会数割1万円）

(イ) 一般会費および賛助会費による助成金 2,785,480円 (単位：円)

学区	一般会費分 前年度の納入世帯数×90円		賛助会費分 前年度の納入額×1/2		計	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6
守山	418,320	403,110	134,000	139,000	552,320	542,110
吉身	305,460	287,280	143,000	138,000	448,460	425,280
小津	127,080	130,050	233,000	229,000	360,080	359,050
玉津	73,350	73,800	141,500	133,500	214,850	207,300
河西	279,180	279,990	470,500	471,000	749,680	750,990
速野	230,040	230,760	178,500	164,000	408,540	394,760
中洲	54,900	54,990	51,000	51,000	105,900	105,990
合計	1,488,330	1,459,980	1,351,500	1,325,500	2,839,830	2,785,480

イ 学区社会福祉協議会への助成実績一覧

(単位：円)

助成金項目	守山	吉身	小津	玉津
小地域福祉活動推進事業費	260,000	200,000	190,000	140,000
小地域福祉活動推進 (一般会費還元)	403,110	287,280	130,050	73,800
小地域福祉活動推進 (賛助会費還元)	139,000	138,000	229,000	133,500
福祉協力員活動事業	260,000	180,000	205,000	125,000
見守り支え合い活動	28,600	50,000	—	—
すこやかサロン	—	—	11,000	11,000
在宅介護者のつどい	34,000	52,000	56,000	36,000
ふれあいお楽しみ会	234,500	119,000	96,500	215,500
サロンボランティア活動講座	10,000	10,000	—	20,000
子育てサロン	—	—	—	—
社協だより配付交付金	292,600	190,300	68,700	59,000
第2層協議体活動	30,000	30,000	30,000	30,000
多世代交流サロン	—	—	—	—
課題解決事業	50,000	50,000	50,000	50,000
歳末事業	50,000	50,000	50,000	50,000
R6計	1,791,810	1,356,580	1,116,250	943,800
R5計	1,758,920	1,323,660	1,083,980	987,550
R4計	1,605,820	1,275,630	1,044,500	882,850
R3計	1,754,780	1,509,270	1,031,250	969,470
R2計	1,440,180	1,206,493	1,018,750	758,970

助成金項目	河西	速野	中洲	計
小地域福祉活動推進事業費	260,000	200,000	150,000	1,400,000
小地域福祉活動推進 (一般会費還元)	279,990	230,760	54,990	1,459,980
小地域福祉活動推進 (賛助会費還元)	471,000	164,000	51,000	1,325,500
福祉協力員活動事業	255,000	155,000	65,000	1,245,000
見守り支え合い活動	177,000	219,600	265,000	740,200
すこやかサロン	—	66,000	55,000	143,000
在宅介護者のつどい	—	44,000	50,000	272,000
ふれあいお楽しみ会	116,000	129,500	54,500	965,500
サロンボランティア活動講座	20,000	20,000	20,000	100,000
子育てサロン	—	—	30,000	30,000
社協だより配付交付金	152,200	116,100	45,200	924,100
第2層協議体活動	30,000	30,000	30,000	210,000
多世代交流サロン	—	—	30,000	30,000
課題解決事業	50,000	50,000	50,000	350,000
歳末事業	50,000	50,000	50,000	350,000
R6計	1,861,190	1,474,960	1,000,690	9,545,280
R5計	1,855,080	1,463,940	975,700	9,448,830
R4計	1,876,000	1,346,300	978,200	9,009,300
R3計	1,760,800	1,542,100	833,710	9,401,380
R2計	1,588,800	1,244,360	725,010	7,983,063

ウ 学区社協等事業への参加

(単位：回)

学区	合計	学区社協事業	福祉協力員事業	自治会
R2計	106	51	12	43
R3計	144	70	25	49
R4計	204	113	29	62
R5計	220	95	34	91
R6計	312	199	31	82
守山	30	20	2	8
吉身	53	35	3	15
小津	51	42	5	4
玉津	49	18	7	24
河西	30	22	4	4
速野	57	37	7	13
中洲	42	25	3	14

(8) もりやま地域共生大会の開催

地域福祉の啓発を行うとともに、福祉活動の功績が顕著な個人や団体に対し、表彰および感謝状の贈呈を行いました。令和6年度についても、障害者福祉の啓発をするための「もりやまふれあいフェア」と合同で開催しました。

ア 開催日時・会場 令和6年11月23日(土・祝) 13:00~15:30 守山市民ホール小ホール、展示室等

イ 会場別内容、参加者数

会場	内容	参加者数
守山市民ホール 小ホール	表彰式 ○表彰 ・市自治振興 ・社会福祉功労 ・育成功労 ○感謝 ・高額寄附者(善意銀行・共同募金) ○社協ほっと♡ホット福祉大賞(川柳部門・写真部門) 福祉活動推進校の発表 立入が丘小学校、守山北中学校 講演ライブ 手話シンガーソングライター yokko 氏	213人
守山市民ホール 展示室 ギャラリー	社協ほっと♡ホット福祉大賞2024 作品展示会 各団体活動紹介パネル展示(学区民生委員児童委員協議会、学区福祉協力員連絡会、赤十字奉仕団、子ども福祉委員、子ども食堂) 障害福祉事業所・障害福祉関係団体紹介パネル展示 障害福祉事業所物品販売 共同募金コーナー(募金箱設置・グッズ販売)	
リハーサル室	ヨガ体験 認定NPO 法人日本ヨガ連盟 ヨガインストラクター 吉田典子氏	35人
学習室1	珈琲コーナー ボランティアはじめの一步講座受講生(5名) ほたるサポート事業登録者(1名)	92人

(9) 関係者と連携した取組

ア 民生委員・児童委員活動の支援および連携

- (ア) 市民児協役員会開催支援および出席(毎月1回)
- (イ) グループ活動支援および出席 3グループ(高齢者福祉、障がい児・者福祉、児童・家庭福祉)
- (ウ) 委員会等開催支援および出席 主任児童委員会(毎月1回)、組織運営強化委員会(毎月1回)、広報啓発委員会(随時)、研修委員会(随時)、タブレット導入に向けた検討会議(随時)
- (エ) 市民児協総会開催支援および出席

開催日	参加者	内容
令和6年5月24日(金)	134名	令和5年度 事業報告・決算・監査報告 令和6年度 事業計画・予算(案)

(カ) 学区民児協定例会への出席 7学区へ毎月1回

(カ) 福祉情報システムの運用

民生委員・児童委員は、見守りや友愛訪問活動の必要な方について、その方の状況や支援の内容を明確にするため、福祉票を作成しています。市社協は、その情報を福祉情報システムに入力、毎月更新し、緊急時等に適切に対応できるよう、情報の整理に努めました。

○福祉情報システム登録者数〔延べ〕（各年度3月末の数値）（単位：人）

	登録区分	R2	R3	R4	R5	R6
A	ひとり親家庭	52	52	90	87	91
B	ひとり暮らし高齢者	1,433	1,474	1,107	1,202	1,211
C	昼間のひとり暮らし高齢者	235	252	294	285	294
D	要介護3・4・5に認定された人	290	301	350	327	273
E	要支援障害者のいる世帯	340	349	551	553	540
F	高齢者のみの世帯	2,269	2,303	1,776	1,809	1,802
G	その他見守りが必要な世帯	196	200	1,091	982	836
	計	4,815	4,931	5,259	5,245	5,047

※令和4年度から以下の通り区分を変更しています。

B：（定義）65歳以上 ⇒ 75歳以上

C：（定義）65歳以上 ⇒ 75歳以上

D：要介護高齢者のいる世帯 ⇒ 要介護3・4・5に認定された人

F：（定義）70歳以上 ⇒ 75歳以上

(キ) 暮らしの安心メモ・命のバトンの設置および普及・啓発

緊急時や災害時に早く支援を受けられるよう、民生委員・児童委員とともに必要な世帯に設置し、また普及・啓発に努めました。

○学区別設置数（各年度3月末の数値）（単位：人）

年度	守山	吉身	小津	玉津	河西	速野	中洲	計
R2	425	458	133	55	365	163	68	1,667
R3	425	436	126	52	435	146	65	1,685
R4	431	443	132	82	436	136	60	1,720
R5	426	422	140	88	472	118	57	1,723
R6	409	417	123	79	496	113	54	1,691

○普及・啓発

社協だより（1月号）へ掲載

イ 要介護高齢者へのふとん丸洗いサービス事業

寝たきりの高齢者など要介護3以上の人を対象に、民生委員・児童委員からの案内等により、寝具の洗濯を実施しました。

(ア) 実施期間 令和6年12月2日（月）～12月13日（金）

(イ) 利用実績（単位：件）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
利用件数	32	30	38	39	26

ウ ひとり暮らし高齢者への年賀状送付

小学生からの心のこもった年賀状をひとり暮らし高齢者へ送付する事業を実施しました。

(ア) 協力機関 守山市民生委員児童委員協議会、守山市赤十字奉仕団、市内小学校

(イ) 送付数 1,389人（対象1,625人／民生委員・児童委員調べR6.9.1時点）

○小学校別送付数（単位：人）

守山	物部	吉身	立入が丘	小津	玉津	河西	速野	中洲	計
240	180	148	100	157	65	295	142	62	1,389

エ 多世代交流サロン助成事業

地域住民が主体となって、高齢者や子どもなどが交流する居場所づくりに取り組む団体へ助成金（年3万円、令和7年度までの間に延べ3回まで）を交付しました。

(ア) 助成対象 学区社協、自治会、老人クラブ、子ども会

(イ) 交付実績

	R4	R5	R6
学区	1	1	1
自治会	6	9	15
老人クラブ	0	1	0
交付額（円）	210,000	330,000	480,000

オ 歳末たすけあい激励金交付事業

生活福祉資金コロナ特例貸付の借受世帯や民生委員・児童委員が把握する低所得世帯などへ、年末に民生委員・児童委員に激励金（現金）を届けてもらいました。

	R2	R3	R4	R5	R6
交付（世帯）	25	49	95	95	86
金額（円）	154,000	708,000	950,000	950,000	860,000

カ フードパントリー

中央共同募金会『赤い羽根 ポスト・コロナ（新型コロナウイルス）社会に向けた福祉活動応援キャンペーン「生活困窮者への緊急支援活動助成」』を受け、歳末たすけあい激励金受給者や新型コロナ特例貸付借受者を対象に、フードパントリー（食料等の無料配付および困りごと相談会）を3回実施しました。第3回は、フードバンクびわ湖と連携し、ひとり親世帯も対象としました。

実施日時・場所	実績
令和6年12月22日(日) 10:00～11:30 すこやかセンター	対象：歳末たすけあい激励金受給者(86名) 新型コロナ特例貸付借受者(213名) 他 実績：当日来場66名、後日来所26名、配達11名 相談希望1名
令和7年1月19日(日) 10:00～11:30 すこやかセンター	対象：歳末たすけあい激励金受給者(86名) 新型コロナ特例貸付借受者(213名) 他 実績：当日来場49名、後日来所17名、配達7名 相談希望3名
令和7年3月2日(日) 10:00～11:30 すこやかセンター	対象：歳末たすけあい激励金受給者(86名) 新型コロナ特例貸付借受者(213名) ひとり親世帯(50名) 他 実績：当日来場72名、後日来所17名、配達16名

(10) ひきこもり実態調査

ア ひきこもり実態調査実施委員会

ひきこもりの実態把握や社会的課題としての啓発などを目的としたアンケート調査を実施するにあたり、学識経験者や支援関係者などにより、令和5年度は準備委員会、令和6年度は実施委員会を設置し、調査方法等について協議・検討しました。

開催日	参加者	内容
令和6年5月23日(木)	15名	令和5年度の検討結果報告、アンケート項目やチラシの検討
令和6年6月27日(木)	15名	アンケート項目の修正、チラシの検討
令和6年8月1日(木)	15名	アンケート項目の決定

イ ひきこもり実態調査の実施

- (ア) 期 間 令和6年10月10日～令和7年1月24日
- (イ) 対 象 もりやま社協だよりを配布する市内約30,000世帯
- (ウ) 方 法 もりやま社協だよりに調査内容と方法を記載したチラシを挟みこみ配布。
原則Web回答とし、要望により回答用紙送付。
- (エ) 種 類 ひきこもりご本人用、ご本人以外用の2種類

ウ 調査結果の概要

アンケートの回収数は、以下のとおりです。

区分	回収数	【参考】Web回答数/回答用紙数	アクセス数
ご本人用調査	7	Web 7 / 紙媒体 0	124
ご本人以外用調査	146	Web 128 / 紙媒体 18	565

また、ひきこもりに関する自由意見として、家族の悩み、地域社会による見守り、支援のあり方など100件を超えるご意見をいただきました。

エ 今後の取組の方向性

ご本人及びご本人以外の調査結果並びに多数のご意見をいただいたことから、今後、次の視点を持って支援の取組を進めます。

- 専門職を含む幅広い支援体制の確保
- 就労、収入への不安に応える取組
- 地域と当該世帯との関係性の構築
- 更なる実態把握と社会的課題の啓発
- 途切れのない支援体制

(11) ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり

ア 守山ほたるサポート事業（ひきこもり支援事業）

ひきこもりの人の社会参加を促すため、ボランティア活動等への参加を促進しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
登録者（人）	12	11	13	17	16
活 動（回）	71	141	170	216	229

イ ひきこもりサポーター養成連続講座

ひきこもりについて正しく理解し、一人ひとりが地域の中で何ができるのかを一緒に考えることを目的に開催しました。受講者の中の10名に、新たにひきこもりサポーターとして登録していただきました。

開催日時	内容	受講者
令和6年9月18日(水) 13:30～15:00	「ひきこもりとは」 講師：岡山県立大学 准教授 周防美智子氏	15名
令和6年9月25日(水) 13:30～15:00	「守山市の現状～アウトリーチ支援～」 講師：市生活支援相談課 係長 大木あかね氏 NPO 法人就労支援ネットワーク滋賀 橋本剛氏	19名
令和6年10月9日(水) 13:30～15:00	「ひきこもり支援の実践報告」 講師：若者自立支援ボランティア Group 居場所の会「レリーフ」 奥村真幸氏	18名
令和6年10月17日(木) 13:30～15:30	「つながるための聴き方」 講師：ふおりせ心理ストレス相談室 宮脇宏司氏	18名

- ・ひきこもりサポーター登録者数は、従来11名と今回10名の計21名。
- ・ひきこもりサポーターは、守山ほたるサポート事業、ほたるの広場、ほたる農園などに協力されます。

ウ ほたるの広場

ひきこもりの人やその家族が安心して過ごすことができる居場所として、令和5年2月から、ほたるの広場を開設しています。

- (ア) 日時 毎週火曜日の午後1時半から4時まで
- (イ) 場所 地域福祉活動センター（コミュハウス・ほたる）

- (ウ) 運営 ひきこもりサポーター (ボランティア)
 (エ) 内容 カードゲーム、お話し、筆談、調理体験など

	R5	R6
延べ参加者 (人)	136	126
開設回数 (回)	50	50

エ ほたる農園

ひきこもりの人やその家族が自然にふれ農作物を育て、収穫やその農作物を使った料理などを体験できる場として、令和6年6月から、ほたる農園の取り組みを実施しています。

- (ア) 日時 毎月3回木曜日の午前10時から11時半まで
 (イ) 場所 地域福祉活動センター (コミュハウス・ほたる) 近くの畑
 (ウ) 運営 Everybody農s! 代表 今井由莉氏 (ひきこもりサポーター)
 (エ) 内容 土壌づくり、植え付け、収穫、調理体験など

	R6
延べ参加者 (人)	52
開設回数 (回)	29

オ 地域福祉活動センター (コミュハウス・ほたる) の活用

ほたるの広場を毎週火曜日に開設し、若者自立支援ボランティア Group 居場所の会「レリーフ」が毎週月曜日と水曜日に、また不登校児とその親のためのグループ「cocomama」が月2回程度使用するなど、ひきこもり等に関連した支援を行う拠点となっています。

カ 専門家によるひきこもり相談の実施

若者自立支援ボランティア Group 居場所の会「レリーフ」に委託し、認定カウンセリング心理士等の専門家による相談を実施。

	R6
相談人数 (人)	12
相談延べ回数 (回)	33

キ ひきこもり一斉電話相談

県社協が実施する県内一斉の電話相談に参画しました。

実施日	本会への相談	県内の相談	実施機関(本会含む)
令和6年9月12日(木)	0件	5件	11団体
令和6年9月13日(金)	0件	13件	7団体
令和7年2月13日(木)	0件	4件	12団体
令和7年2月14日(金)	0件	6件	8団体

実施時間は、各日とも10:00~18:00

ク 湖南地域ひきこもり者支援フォーラムの開催

ひきこもりについて正しい理解を深め、また当事者等の把握や適切な支援の共有を目的に、湖南4市社協(草津、栗東、野洲、守山)で実行委員会を設置し、フォーラムを開催しました。

- (ア) 実行委員会 7/2(火)、12/2(月)、2/27(木)
 (イ) フォーラム

事業名	開催日時	参加者	会場	内容
第6回 ひきこもり支援を 考えるフォーラム	令和7年 2月1日(土) 13:30~15:30	一般 125人 運営者 13人	草津市立市民総合 交流センター キラリエ草津 6階大会議室	講演:ひきこもりの対話的支援~生 きづらさを知る~ 講師:つくばダイアローグハウス院 長、筑波大学名誉教授 斎藤 環氏

6 サロン活動の推進

学区社協や自治会において高齢者ふれあい交流「すこやかサロン」や「子育てサロン」等が積極的に実施されるよう支援しました。

(1) すこやかサロン (市受託事業)

(単位:所・回・人・円)

		R2	R3	R4	R5	R6
学区社協	実施カ所	2	3	4	4	4
	回数	2	5	11	11	13
	参加者数 (高齢者)	115 (71)	165 (100)	313 (187)	337 (199)	506 (306)
	助成額	22,000	47,240	121,000	121,000	143,000
自治会	実施カ所	40	49	62	68	68
	回数	550	647	830	1,148	1,270
	参加者数 (高齢者)	8,613 (7,032)	9,441 (7,563)	13,552 (10,440)	18,849 (14,345)	19,341 (14,964)
	助成額	2,171,349	2,615,126	3,521,155	4,362,913	4,824,908

(2) ふれあいお楽しみ会 (ひとり暮らし高齢者のつどい・市受託事業)

(単位:所・回・人・円)

		R2	R3	R4	R5	R6
学区社協	実施カ所	0	2	4	7	7
	回数	0	2	4	8	8
	参加者数 (高齢者)	0 (0)	124 (87)	199 (120)	478 (331)	537 (402)
	助成額	0	226,000	378,500	877,000	965,500

(3) 在宅介護者のつどい (市受託事業)

(単位:所・回・人・円)

		R2	R3	R4	R5	R6
学区社協	実施カ所	4	3	6	6	6
	回数	4	4	6	7	6
	参加者数 (介護者)	80 (27)	57 (25)	87 (28)	101 (38)	111 (50)
	助成額	159,100	152,500	218,000	272,000	272,000
自治会	実施カ所	1	1	2	2	3
	回数	2	2	3	3	5
	参加者数 (介護者)	34 (20)	37 (22)	57 (27)	62 (33)	91 (30)
	助成額	33,962	47,000	72,000	77,000	116,000

(4) サロンボランティア活動講座 (市受託事業)

(単位:所・回・人・円)

		R2	R3	R4	R5	R6
学区社協	実施カ所	5	7	6	7	6
	回数	7	8	10	11	10
	参加者数	195	202	239	261	233
	助成額	70,000	80,000	100,000	110,000	100,000

(5) 自治会子育てサロン

(単位:所・回・人・円)

		R2	R3	R4	R5	R6
実施カ所		37	36	37	37	36
回数 (助成対象)		195 (180)	484 (223)	392 (336)	505 (347)	431 (331)
参加者数 (子どもと保護者)		13,618 (10,824)	5,701 (4,447)	7,801 (5,843)	8,387 (6,077)	7,991 (5,798)
助成額		530,000	597,500	823,534	913,214	838,160

7 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営

ア 情報提供および啓発に関する事業

広報誌「もりやま社協だより」やフェイスブックなどのSNSでボランティア活動の普及、啓発に努めました。

イ 相談援助および調整・紹介

(ア) ボランティア登録状況

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
個人登録(人)	40	15	15	18	16
グループ登録(団体)	63	61	60	59	64
〈人数〉	〈2,928〉	〈1,643〉	〈1,544〉	〈1,493〉	〈1,579〉
[内訳]					
イベント支援(出演)	22	21	24	23	28
参加・体験支援	13	14	11	10	10
コミュニケーション支援	6	6	8	8	8
子育て・若者支援	7	7	5	5	5
普及・啓発	5	3	10	10	9
生活支援	10	10	2	3	4

(イ) ボランティア活動の派遣・相談状況

(単位：件)

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
自治会等地域行事での出演	15	21	43	84	95
福祉施設等での出演	1	8	15	38	59
福祉教育、体験指導	8	2	6	17	11
生活支援	15	23	36	38	24
施設支援	3	1	1	0	0
ボランティア活動をしたい	6	10	8	13	14
計	48	65	109	190	203

ウ 学習および交流支援に関する事業

(ア) ボランティア連絡協議会(団体会員19、個人会員8)との連携

役員会への出席(偶数月 第1木曜日) 6回開催

(イ) 福祉教育等貸出用物品の設置

物品名	数量	物品名	数量
車いす(自走・介助)	31台	点字マット	1セット
高齢者擬似体験セット	9セット	点字板	60枚
アイマスク	80枚	白杖	2本

(ウ) 登録ボランティアグループ活動助成

	R2	R3	R4	R5	R6
助成グループ数	44	41	39	39	45
助成額(円)	426,775	418,200	400,225	400,225	577,075
ボランティア連絡協議会	1	1	1	1	1
助成額(円)	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000

エ ボランティア保険の加入手続き(当年度適用分)

(単位：件)

種 別	R2	R3	R4	R5	R6
ボランティア活動保険	123	110	138	170	170
ボランティア行事用保険	41	22	77	107	109
福祉サービス総合補償	6	3	7	7	7

オ 地域福祉活動推進用具(イベント機器)の貸出

(単位：台、件)

機材名	保有台数	R2	R3	R4	R5	R6
ポップコーン機	6	2	5	8	20	27
綿菓子機	7	8	4	10	45	36
かき氷機	電動6 手動5	3	1	6	20	19
たこ焼き機	3	0	0	1	6	7
焼きそば機	3	2	2	13	14	20

※令和6年度貸出備品の一斉点検を実施

(2) エコキャップ運動への参加

ペットボトルキャップを回収し、売却額の全額を JCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)に寄付しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
エコキャップ(kg)	4,279	4,252	4,145	4,553	4,284
ワクチンの数(個)※目安	約2,139	約2,126	約2,072	約2,276	約2,142

※2kg=ワクチン1人分(JVCのHP) キャップ1個2.32gなら、860個(1995.2g≒2kg)で1人分(20円)

(3) ボランティア活動に関する事業の実施

ア お話し相手ボランティア派遣事業(お話し相手ボランティア「やすらぎ」)(市受託事業)

これまでの班編成を廃止し、活動にあたってのコーディネート業務を事務局が担い、円滑な運営を実施しました。また、活動者の個々のスキルアップをめざすため「ふりかえりの会」を開催し、活動の強化を図りました。

さらに、お話し相手ボランティア養成講座を開催し、受講者10名全員が新たにボランティア登録いただき、実際に先輩ボランティアとペアで実践されています。

今後も利用者に寄り添ったコーディネート業務を行い、活動の拡充を図ります。

	種 別	R2	R3	R4	R5	R6
在宅	派遣件数(件)	32	168	275	294	327
	派遣人数(名)	65	237	482	556	655
ボランティア数(名)		62	46	43	38	43

(7) 会員研修

日時・場所	参加者数	内 容
令和6年8月26日(月) 10:00~12:00 コミュニティ防災センター	18名	講義：「傾聴の5つの意義とそれから ロールプレイを中心に」 講師：一般財団法人つながりの会代表理事、 元北海道教育大学講師、社会福祉士 主任介護支援専門員 粟野 真造 氏
令和7年1月20日(月) 10:00~12:00 コミュニティ防災センター	28名	講義：「認知症サポーター養成講座」 講師：守山市中部地区地域包括支援センター キャラバン・メイト

(イ) お話し相手ボランティア養成講座

	日程	受講者数	内容
第1回	令和6年9月3日(火) 13:30~15:30	10名	①オリエンテーション ②講義:コミュニケーションの取り方「五感対話法」 講師:関西福祉科学大学 都村 尚子 氏
第2回	令和6年9月10日(火) 13:30~15:00	10名	講義:傾聴の基礎 講義&ロールプレイ 講師:一般財団法人つながりの会代表理事、 元北海道教育大学講師、社会福祉士 主任介護支援専門員 粟野 真造 氏
第3回	令和6年9月17日(火) 10:00~11:30	10名	①講義:高齢者のお話し相手となるために 講師:守山市中部地区地域包括支援センター 山口 勉 氏 ②体験実習(石田デイサービスセンター)
第4回	令和6年9月24日(火) 10:00~12:00	10名	①講話:ボランティア活動で大切にしていること 話題提供者:先輩ボランティア 2名 ②講義:お話し相手ボランティアの心得について 講師:守山市社会福祉協議会 里内 勝 氏 ③修了証お渡し・ボランティア登録

(ウ) ふりかえりの会

実施日	参加者数
令和6年6月18日(火)	6名
令和6年12月3日(火)	6名
令和7年2月13日(木)	4名

(エ) 会員交流への助成

会員同士が、心身ともに安心でき意見交換が図れる任意の場として「やすらぎカフェ」を実施され、交流の費用に対して助成支援を行いました。

【助成実績】助成件数3件 助成金交付8,500円(500円/人×17名)

(オ) インフルエンザ予防接種費用助成

ボランティア会員を対象に、インフルエンザ予防接種の費用に対して助成支援を行いました。

【助成実績】助成件数19件 助成金交付19,000円(1,000円/人×19名)

イ 守山市福祉有償運送事業(外出支援ボランティア「はあ〜と」)

介護保険制度の要支援1、2または総合事業の事業対象者の交通施策の隙間を埋めるべく、ボランティアにより医療機関への送迎支援を実施しました。令和6年9月から買い物支援も実施。

	R2	R3	R4	R5	R6
利用登録者(名)	23	24	22	22	15
利用件数(件)	283	244	167	126	142
ボランティア数(名)	10	9	8	8	9

ウ 広報点字版発行事業(点訳グループ「きらら」)(市受託事業)

市広報誌(月2回)と市社協広報誌(年4回)の点字版を作成し発行しました。

	R2	R3	R4	R5	R6
利用登録者(名)	6	5	5	5	5
ボランティア(名)	4	4	4	4	4

エ いきがい活動ポイント事業の実施(市受託事業)

65歳以上の方が、地域貢献と社会参加を目的にしたボランティア活動を登録施設等で行い、付与されたポイントを施設利用券や商品券に換券または施設等へ寄付できる事業を実施しました。また、福祉施設などで実践されているボランティアグループに対して、当事業への参加を呼び掛け、登録増員に努めました。令和6年度から登録期間を1年間(10月~翌年9月)として運営を行います(ポイント換券も同様)。

(ア) ボランティア登録状況 (各年度登録者・団体の累計) (単位: 名・箇所)

	R2	R3	R4	R5	R6
個人	301	290	259	249	214
老人クラブ	3	3	2	2	1

年齢層別内訳 (単位: 名)

年齢層	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	合計
人数	20	42	90	43	19	214

(イ) ボランティア活動受入施設 (単位: 箇所)

施設別	R2	R3	R4	R5	R6
高齢者	32	31	31	29	31
子ども	29	28	25	26	24
障害者	6	6	4	4	4
その他	3	3	1	0	0
計	70	68	61	59	59

(ウ) 活動実績 (単位: 件、個)

	R2	R3	R4	R5	R6
活動件数	1,415	1,503	1,742	2,235	2,937
スタンプ数	2,074	2,121	2,510	3,060	4,094

オ はじめの一步講座の開催(ボランティア養成講座)

これまで地域での福祉活動への関わりが薄い方が、受講をとおして福祉の心を育むとともに、修了後は地域のサロンや福祉施設等でボランティア活動を実施する機会づくりを充実することを目的に地域で活動しやすいテーマを設定し開催しました。

(ア) コーヒーの淹れ方講座

日時・場所	参加者数	内 容
令和6年9月6日(金) 10:00～12:00 玉津会館2階 研修室	16名	①コーヒーマイスター南さんに世界のコーヒーと焙煎のお話を聞こう！ 講師：直火焙煎珈琲豆 カフェバード 南 清章 氏 ②森田さんとコーヒーを淹れてみよう！ 講師：じろべえ ポーズカフェ(Pause café) 森田 雄 氏
令和6年9月12日(木) 10:00～12:00 玉津会館1階 調理室	16名	①森田さんのお話 これから始めるボランティア活動 ②コーヒーを淹れてみよう！(おさらい) 講師：じろべえ ポーズカフェ(Pause café) 森田 雄 氏

*受講後は、もりやま地域共生大会(11/23)、自治会のサロンや障害福祉施設の余暇支援でコーヒーボランティアとして活動いただきました。

(イ) 「ケアマフ」知ろう・作ってみよう講座

日時・場所	参加者数	内 容
令和7年3月7日(金) 10:00～12:00 すこやかセンター3階講習室	一般14名 施設関係者11名	①ケアマフのお話 ②ケアマフを編んでみよう！ 講師：Opull(オプル)、 作業療法士兼手芸作家 高田 優 氏

*受講後は、有志による編物グループの立ち上げを現在話し合いをされ、施設などでのボランティア活動の意識が芽生えています。

(4) 福祉車両貸し出しお出かけ応援事業

本会保有の車いす対応車両(寄贈いただいた普通車2台)を貸し出し、家族や知人による車いす使用者との外出を促進しました。

[利用状況]

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者(人)	9	7	10	19	24
利用件数(件)	22	19	24	27	116

(5) ファミリー・サポート・センター事業の実施(市受託事業)

子育て世帯等が、仕事と育児を両立するために育児援助を行うことにより、児童福祉の向上と地域住民とのつながりが深められるよう努めました。

ア 会員登録状況(各年度末現在)

(単位:名)

	R2	R3	R4	R5	R6
おねがい会員	600	577	616	590	632
まかせて会員	152	83	83	85	89
どっちも会員	38	21	34	36	42
計	790	681	733	711	763

イ 活動内容集計(延回数)

(単位:回)

活 動 内 容	R4	R5	R6
保育施設入所前の援助	10	0	0
保育施設入所前の援助(車あり)	1	0	0
保育施設の登園前の預かり・送り	8	0	0
保育施設の登園前の預かり・送り(車あり)	33	0	0
保育施設への送り	38	16	9
保育施設への送り(車あり)	85	206	49
保育施設への迎え	195	115	51
保育施設への迎え(車あり)	510	705	564
保育施設への迎え・預かり	38	104	72
保育施設への迎え・預かり(車あり)	96	44	56
学校・放課後児童クラブの送り	40	44	38
学校・放課後児童クラブの送り(車あり)	97	90	33
学校・放課後児童クラブへの迎え	3	33	39
学校・放課後児童クラブへの迎え(車あり)	310	129	297
学校・放課後児童クラブへの迎え・預かり	1	1	4
学校・放課後児童クラブへの迎え・預かり(車あり)	11	2	1
子どもの習い事等の場合の援助	55	30	61
子どもの習い事等の場合の援助(車あり)	420	316	358
兄弟姉妹の通院・学校行事などの場合の援助	14	1	5
兄弟姉妹の通院・学校行事などの場合の援助(車あり)	5	3	7
休日の援助	11	0	0
休日の援助(車あり)	16	0	0
子どもの病気時の援助	4	2	0
子どもの病気時の援助(車あり)	20	1	0
保護者の外出の場合の援助	18	0	0
保護者の外出の場合の援助(車あり)	14	0	0
保護者の就労(短期・臨時・求職活動等)に係る援助	123	66	175
保護者の就労(短期・臨時・求職活動等)に係る援助(車あり)	43	19	96
保護者の産前・産後時の子どもの送迎及び預かり	8	0	1

保護者の産前・産後時の子どもの送迎及び預かり（車あり）	68	3	14
その他（保護者のリフレッシュ・家事をしたい時・私用の時等）	75	290	254
その他（保護者のリフレッシュ・家事をしたい時・私用の時等・車あり）	38	70	86
合 計	2,408	2,290	2,270

ウ 会員研修の開催

これまで実施してきた行事を見直し、まかせて会員の増員と子育て支援の充実を図るため、活動にあつたの安全対策を中心とした研修会と会員交流会を実施しました。

(7) まかせて会議（まかせて会一員・どちらも会員向け研修等を定期開催）

日時・場所	内 容	受講者
令和7年2月21日(金) 9:30~11:30 コミュニティー防災センター(研修室)	① 乳幼児のAED使用法 ② 乳幼児の心肺蘇生法の講義 ③ 誤飲した時の処置法	10名
令和7年2月26日(水) 9:30~11:30 すこやかセンター(保健指導室)	① 乳幼児のAED使用法 ② 乳幼児の心肺蘇生法の講義 ③ 誤飲した時の処置法	8名

(4) 会員交流会

日時・場所	内 容	受講者
令和6年11月28日(木)10:00~12:00 エルセンター(大会議室)	① 交流会の開催目的について ④ アトNPO・ZOO 手遊び等参加型お話し会 ⑤ バルーンアートふうせん バルーンアート作成	大人 13名 子ども 7名

(6) 子育て応援フォーラム「みんなで子育て大作戦」開催

市内在住・在勤の子育て世帯、および子育て支援に興味のある一般市民等を対象に開催しました。

子育て支援団体で構成する実行委員会形式で事業の企画立案から実施までを行い、子育て家庭と支援団体がつながる場となりました。

日時・場所	内 容	参加者
令和7年2月12日(月・休) 9:30~11:30 市役所 多目的ホール	○子育て支援団体・居場所マップ(チラシ大集合) ○子育て応援フォーラム歩み・活動紹介 ○メッセージでつながろう ○どうぞのふろしき(リユースコーナー) ○ファミサポコーナー ○見守り託児コーナー ○守山市「子育て支援拠点」の紹介 ○ほっこり相談会	一般 68名 実行委員 13名 運営ボランティア 15名 市役所 12名 市社協 7名

(7) 災害ボランティアセンター体制の整備

災害ボランティアセンター機能を強化するため、災害ボランティアコーディネーターと協働によるセンター運営の充実や防災意識を高めました。

ア 災害ボランティアセンター設置運営訓練(8/25 明富中学校)

イ 能登半島地震復興支援 和太鼓演奏 in 守山(3/30 モリーブセントラルコート)

ウ 石川県七尾市災害ボランティアセンターへの職員2名(R5年度から通算3名)の派遣(①4/1~4/7、②6/8~6/14)

(8) 出前講座の実施

職員およびボランティアグループがすこやかサロンや各種団体等の研修会に出向き、出前講座を実施しました(令和4年度からボランティアグループによる出前講座は「イ相談援助および調整・紹介(イ)ボランティア活動の派遣・相談状況」に集約)

[出前講座実績]

(単位：回)

実施内容		R2	R3	R4	R5	R6
介護事業部	介護保険				1	1
	食事介助の基本について					
	脱水・熱中症について			1	3	2
	飲み込みについて					
	口腔ケアについて					
	インフルエンザについて					
	転倒予防体操・運動機能向上体操について			3	2	2
	移乗の仕方について					
	認知症予防と頭の体操について	1		1	2	4
	住宅改修と福祉用具について					
	ヘルパーの仕事について					
	排泄介助について				1	2
	高齢者の施設について					
	床ずれの予防について					
	標準予防策（手洗い、マスクのつけ方等）					
その他				1		
地域福祉部	地域福祉権利擁護事業について	1			1	
	災害ボランティアセンターについて					
	ファミリー・サポート・センターについて					
	避難所運営ゲーム(HUG)について	1	1	4	4	3
	車いすの使用と介助の体験					
	災害被災地支援について					
	地域福祉活動について(助成金の活用について)		2			
	地域ぐるみの支え合いについて(見守り支え合い活動等)			1		3
	社会福祉協議会活動について				1	
	生活支援体制事業について					
	共同募金運動について					
	高齢者擬似体験					
	ボランティアグループによる出前講座	2	9			
	その他				1	
	合計		5	12	10	17

(9) 生活支援ボランティア活動の実施

高齢者等が安心して暮らし続けられる、福祉のまちづくりの実現を目指し、日常生活でちょっとした困りごとのお手伝いを「生活支援ボランティア」が行う支え合い活動を実施しました。

[活動概要]

活動内容	庭の除草作業、ごみ出し(不定期の大型ごみ)、電球の交換 付き添い(通院・散歩・買い物)、精米、水やり、その他
活動費	活動1時間あたり 500円 *材料費等の実費負担あり
活動時間	平日 8:00~17:00 *場合によっては土日祝も可

[活動実績]

	R3	R4	R5	R6
相談件数(件)	45	19	20	22
活動件数(件)	17	8	11	36
延協力者数(名)	46	15	18	41
利用登録者数(名)	22	26	29	38
ボランティア登録者数(名)	16	12	11	13

*R2年度養成講座を開催し、R3年度から活動始動

(10) 福祉活動推進校設置事業の実施

市内小中学校13校のうち8校が推進校として実践(うち新規3校)。実施にあたっては、市社協が中心となり推進校と福祉団体をつなげ、学校担当者との福祉教育への認識が深く共有できました。

また、11月23日開催のもりやま地域共生大会では2校(守山北中、立入が丘小)に成果発表いただきました。この事業をとおして生徒が福祉について主体的に調べ、上級生に丁寧に説明するとともに、実際にアイマスク体験を受けてもらう等、工夫した取組を実施いただきました。

今後も継続し全ての市内小中学校で実施します。

(11) 子ども福祉委員事業の実施

市立中学校の生徒を対象に、福祉に関する理解を深め、地域の福祉課題について考えるきっかけとして実施しました。参加者は、守山中学校の1年生2名、2年生1名、3年生2名、守山北中学校の2年生4名、3年生1名の計10名。事業終了後もボランティア活動へ案内し参加されるなど、継続した取り組みを行っています。

日時・場所	内 容
令和6年7月13日(土) 9:00~11:30 玉津会館	委嘱状交付、活動ガイダンス、福祉クイズ ほか
令和6年8月25日(日) 10:00~14:00 もりやまエコパーク交流拠点施設	子ども食堂のお手伝い(調理、会場設営、参加者との交流等)
令和6年9月28日(土) 9:00~13:00 地域交流ホームゆい もりやまエコパーク交流拠点施設	・高齢者との交流会(高齢者との関わり方についての学習、レクリエーション、合唱等)
令和6年10月26日(土)9:00~11:40 コミュニティ防災センター	・1日民生委員・児童委員体験(民生委員・児童委員についての学習、一人暮らし高齢者や赤ちゃん訪問の同行等)
令和6年12月21日(土)9:00~12:00 玉津会館	・修了証書・感謝状授与 ・活動の振り返りスライド作成 ・来年度に向けた意見交換

8 地域福祉権利擁護事業の実施

判断能力に不安のある知的障害者や精神障害者、認知症高齢者などの人が地域で安心して暮らせるための支援として、地域福祉権利擁護事業(福祉サービス利用援助事業)を実施しました。

実施状況	R2	R3	R4	R5	R6	
専門員(職員)	2名	2名	2名	3名	3名	
生活支援員	10名	11名	8名	8名	7名	
相談・支援活動の実施	5,525件	6,491件	3,713件 ※1	3,825件	3,549件	
年度末時点の利用契約者	69名 新規20・解除16	66名 新規16・解除19	64名 新規17・解除19	65名 新規14・解除13	61名 新規11・解除15	
内 訳	認知症高齢者	20名 新規13・解除7	15名 新規8・解除13	15名 新規9・解除9	21名 新規12・解除6	20名 新規8・解除9
	知的障害者	18名 新規1・解除6	19名 新規2・解除1	20名 新規4・解除3	18名 新規1・解除3	16名 新規1・解除3
	精神障害者	26名 新規5・解除2	26名 新規4・解除4	25名 新規3・解除4	22名 新規1・解除4	22名 新規2・解除2
	その他	5名 新規2・解除2	6名 新規2・解除1	4名 新規1・解除3	4名 新規0・解除0	3名 新規0・解除1

※1 令和4年度に相談・支援活動の実施の集計方法の変更あり

9 貸付資金等相談事業の実施

対象世帯の自立促進のため、民生委員・児童委員と連携し助言・相談・指導を行うなかで、生活福祉資金貸付制度（貸付元：県社協）の活用の他、関係機関と連携を密にし、他の制度利用を促しました。

(1) 生活福祉資金の貸付相談

(単位：件)

資金種類	R2		R3		R4		R5		R6	
	相談	貸付	相談	貸付	相談	貸付	相談	貸付	相談	貸付
緊急小口資金	1	1	3	2	15	5	14	9	26	11
総合支援資金	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
福祉資金	8	4	4	0	6	2	6	4	4	2
教育支援資金	30	18	14	7	17	14	26	18	20	17
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	39	23	21	9	39	21	46	31	50	30

※貸付件数には、県社協への申請後の取下げ等を含んでいます。(R6：緊急小口資金 取下げ3件)

(2) 生活福祉資金（コロナ）特例貸付事業利用者へのフォローアップ支援（令和5年度から）

ア 相談対応件数

(単位：件)

相談(対応)の形態	R5	R6
訪問	14	11
来所	30	200
電話	—	33
その他	—	3
計	44	247

イ 相談対応結果

(単位：件)

対応区分	R5	R6
申請手続き支援	31	28
他機関・サービスへのつなぎ	—	8
継続支援	—	61
その他	—	160
計	31	257

ウ その他

令和6年度は、フードパントリーの実施により、借受世帯の生活状況等の把握に努めました。

(案内639人、住所不明34人、来所120人)

(参考) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付(R2. 3. 25～R4. 9. 30)の実績

資金種類	貸付件数(件)	貸付金額(千円)
緊急小口資金	746	141,770
総合支援資金	609	327,420
総合支援資金(延長)	247	133,200
総合支援資金(再貸付)	340	181,380
計	利用767人 1,942	783,770

(3) 学区民生委員児童委員協議会による緊急一時資金の貸付（上限20,000円）

	R2	R3	R4	R5	R6
利用者(人)	6	2	9	7	10
貸付金額(円)	110,000	40,000	110,000	110,700	157,000

(4) 寄附米の支援

	R2	R3	R4	R5	R6
件数 (件)	61	64	79	121	123
数量 (kg)	305	320	395	605	615

(5) 心配ごと相談

[区分別相談件数]

相談内容	生計	職業	住宅	家族	結婚離婚	健康衛生	医療	人権法律	児童教育	財産
R3	17	3	5	12	4	3	0	1	5	0
R4	8	5	5	9	0	3	1	2	1	3
R5	12	3	2	13	0	0	2	1	0	2
R6	4	1	7	5	2	0	0	0	0	0
相談内容	近所トラブル	ひきこもり	子育て	ボランティア	障がい者福祉	自治会	生活支援ボランティア	苦情	その他	合計
R3	20	3	1	2	1	7	5	3	13	105
R4	12	18	0	17	3	4	6	5	31	133
R5	9	14	0	2	3	4	0	1	25	93
R6	2	4	0	1	1	0	0	0	21	48

10 介護保険等事業の実施

(1) 居宅介護支援事業

		R2	R3	R4	R5	R6
介護支援専門員数		5名 (常勤5名)	6名 (常勤6名)	6名 (常勤5名)	6名 (常勤5名)	5名 (常勤5名)
年間延訪問回数(回)	要支援①	239	251	252	152	242
	要支援②	245	250	271	267	267
	予防ケアマネジメント	139	162	129	275	153
	要介護①	801	833	997	950	927
	要介護②	560	536	537	500	491
	要介護③	244	251	291	348	328
	要介護④	229	257	192	165	191
	要介護⑤	50	73	79	104	66
計	2,507	2,613	2,748	2,761	2,665	

(2) 訪問介護事業

		R2	R3	R4	R5	R5
訪問介護員数		17名 (常勤12名)	16名 (常勤11名)	16名 (常勤11名)	14名 (常勤9名)	14名 (常勤9名)
年間延訪問回数(回)	総合事業	148	7	0	0	0
	要支援①	190	101	63	131	161
	要支援②	790	817	716	436	503
	要介護①	3,022	2,657	3,162	2,955	3,457
	要介護②	3,572	2,761	2,849	3,275	3,724
	要介護③	3,092	1,309	1,448	1,162	999
	要介護④	2,093	3,766	3,731	3,091	3,099
	要介護⑤	567	1,471	1,551	1,268	1,289
	計	13,474	12,889	13,520	12,318	13,232

(3) 通所介護事業

ア 一般デイサービス

		R2	R3	R4	R5	R6
年間開所日		359日	359日	345日	356日	359日
年間延利用者(名)		9,399	9,848	9,653	9,999	10,192
一日平均利用者(名)		26.2	27.4	28.0	28.1	28.4
年間延利用回数(回)	総合事業	0	0	0	0	0
	要支援①	2	0	0	0	0
	要支援②	0	0	0	0	71
	要介護①	2,474	2,458	2,567	2,738	2,834
	要介護②	2,172	2,478	2,040	2,088	2,396
	要介護③	2,323	2,418	2,267	2,298	1,860
	要介護④	1,633	1,405	1,829	1,719	1,860
	要介護⑤	795	1,089	950	1,156	1,171

イ 認知症対応型デイサービスひだまり

		R2	R3	R4	R5	R6
年間開所日		359日	354日	350日	304日	308日
年間延利用者(名)		2,878	2,406	2,713	2,721	2,739
一日平均利用者(名)		8.0	6.8	7.7	9.0	8.9
年間延利用回数(回)	要支援①	0	0	0	0	0
	要支援②	0	29	86	0	0
	要介護①	589	275	689	750	554
	要介護②	605	505	245	554	563
	要介護③	194	250	478	495	625
	要介護④	988	892	695	378	521
	要介護⑤	502	455	520	544	476

(4) 訪問看護事業

		R2	R3	R4	R5	R6
看護師数		7名	7名	8名	10名	11名
年間延訪問回数(回)	医療保険	1,725	1,999	2,282	2,130	2,612
	要支援①	199	275	426	481	496
	要支援②	496	557	318	663	1,109
	要介護①	1,244	1,547	2,204	2,229	2,405
	要介護②	777	737	1,125	1,441	1,454
	要介護③	130	199	370	551	558
	要介護④	820	865	738	838	1,066
	要介護⑤	412	367	358	150	439
	計	5,803	6,546	7,821	8,483	10,139

(5) 家族介護会

介護されている家族に対して交流の機会を設けました。

期 日	内 容	参加人数
令和6年11月	書面アンケートによる「ひだまり家族会」	14人

1 1 障害者自立支援事業の実施

(1) 居宅介護事業

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
年間延利用者数(名)	170	212	199	194	186
年間延サービス提供回数(回)	1,022	1,383	1,737	1,771	1,798

(2) 移動支援事業

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
年間延利用者数(名)	132	120	120	119	94
年間延サービス提供回数(回)	1,046	958	932	861	701

1 2 中部地区地域包括支援センターの受託

令和3年1月から中部地区地域包括支援センター事業(吉身学区・玉津学区)の受託を行い、令和3年4月1日より事業を開始しました。吉身学区・玉津学区の高齢者の総合相談窓口として、様々な相談に対応してまいりました。

(1) 対応状況

(単位:件)

		吉身学区		玉津学区		その他	
		R 5	R 6	R 5	R 6	R 5	R 6
訪問(自宅)	延べ	779	857	125	211	0	0
	実	244	311	44	70	0	0
訪問(自宅外)	延べ	517	551	84	88	7	11
	実	186	219	38	45	5	9
電話・メール	延べ	4,139	4,112	944	986	85	144
	実	738	808	186	194	40	63
来所	延べ	510	459	149	82	56	115
	実	212	197	60	49	34	66
会議(センター内)	延べ	87	54	32	8	2	1
	実	34	25	10	5	1	1
会議(センター外)	延べ	81	63	46	19	0	0
	実	39	29	16	7	0	0
延べ件数計		6,113	6,096	1,380	1,394	150	271
実件数計		1,453	1,589	354	370	80	139

(2) 各種教室等

ア 出前講座

地域のサロンや人権学習等に講師として出向き、介護予防や認知症理解などの啓発活動を行いました。

出動回数(回)	職員出動延べ数(人)	参加者延べ数(人)
27	56	1,213

イ 自前講座

家族介護者教室や介護予防教室、こもればカフェ（守山市みまも〜り〜のカフェ）を開催し、介護予防や介護に役立つ情報の提供、高齢者やその家族の居場所づくりに取り組みました。

家族介護教室 (守山市図書館 多目的室にて)	開催回数 (回)	参加者延べ数 (人)
	5	100

介護予防教室 (守山市図書館 多目的室にて)	開催回数 (回)	参加者延べ数 (人)
	5	90

こもればカフェ (守山市立図書館 活動室にて)	開催回数 (回)	参加者延べ数 (人)
	12	129

ウ いきいき男性プロジェクト

「男性が気軽に参加できる機会が欲しい」という声から、基幹型地域包括・各圏域地域包括との共同企画として「いきいき男性プロジェクト」を開催しました。

開催日・場所	参加数(人)	内容
令和6年 8月22日・8月28日・9月12日 守山市役所2階防災会議室にて	39	「アクティブシニアを目指して新たな自分 発見講座」

令和6年度
決算報告書

社会福祉法人守山市社会福祉協議会

令和6年度 決算概要 総括

令和6年度は、各事業において収入の確保と適正な執行に努めることにより、人員体制の強化と業務執行の充実を図り、着実に業務計画を推進することができました。

収入支出決算額は、法人合計では収入決算額が5億7,769万円、支出決算額が5億5,087万円で、前期繰越金は1億6,944万円から2,682万円増加し、次期繰越金は1億9,627万円となりました。

拠点区分別では、地域福祉事業の収入決算額は1億7,334万円、支出決算額は1億7,722万円で、前期繰越金は2,394万円から388万円減少し、次期繰越金は2,005万円となりました。

これは、法人運営事業において、すこやかセンター改修に伴う事務局移転経費55万円、会計システム入替経費24万円、福祉サービス利用援助事業におけるパソコン更新115万円など、当初予算に組み入れた計371万円の単年度支出によるものです。

介護事業の収入決算額は3億6,191万円、支出決算額は3億3,712万円で、前期繰越金は1億3,653万円から2,478万円増加し、1億6,132万円となりました。

これは訪問看護事業において、看護師、理学療法士を新規採用し体制強化することで利用者の増加に対応したことから1,548万円、認知症通所介護事業で586万円、居宅介護支援事業で430万円の収支差額がプラスとなったことによるものです。

包括支援センターの収入決算額は4,244万円、支出決算額は3,651万円で、前期繰越額896万円から593万円増加し、次期繰越金は1,489万円となりました。

これは、令和6年4月当初からの採用を予定していた認知症地域支援推進員が令和6年5月、常勤の事務員が令和7年2月採用(臨時として令和6年7月から)となったこと等から、人件費において347万円の不用額が発生したことによるものです。

令和6年度 決算概要(合計及び区分別)

単位：千円

拠点区分	収入			支出			前期繰越	次期繰越
	予算	決算	R5決算	予算	決算	R5決算		
法人合計	613,152	577,696	548,564	613,152	550,870	534,396	169,445	196,271
社会福祉事業会計	570,690	535,253	518,970	570,690	514,358	505,866	160,485	181,380
①地域福祉事業	199,319	173,341	156,536	199,319	177,229	158,373	23,946	20,058
②介護事業	371,371	361,912	362,434	371,371	337,129	347,493	136,539	161,322
公益事業会計	42,462	42,443	29,594	42,462	36,512	28,530	8,960	14,891
③地域包括支援センター	42,462	42,443	29,594	42,462	36,512	28,530	8,960	14,891

サービス区分	収入			支出			備考
	予算	決算	R5決算	予算	決算	R5決算	
○地域福祉事業	199,319	173,341	156,536	199,319	177,229	155,483	
①法人運営	95,844	87,543	83,401	95,844	88,012	85,586	
②小地域福祉活動推進	43,533	38,998	32,389	43,533	38,406	30,923	
③ボランティアセンター運営	19,489	16,722	16,512	19,489	16,440	13,784	
④サロン推進	9,736	9,377	6,797	9,736	9,030	6,043	
⑤福祉サービス利用援助	21,914	16,238	14,862	21,914	21,516	10,936	
⑥善意銀行運営	6,371	2,030	1,962	6,371	1,394	7,845	
⑦基金運営	2,432	2,433	613	2,432	2,431	366	

事業区分	収入			支出			備考
	予算	決算	R5決算	予算	決算	R5決算	
○介護事業	371,371	361,912	362,434	371,371	337,129	347,493	
⑧居宅介護支援	41,031	38,225	51,851	41,031	33,923	50,116	
⑨訪問介護	64,833	63,039	55,440	64,833	62,306	56,847	
⑩障害者自立支援	10,196	10,112	10,532	10,196	10,112	9,081	
⑪通所介護	139,910	125,147	126,700	139,910	126,749	122,970	
⑫認知症通所介護	43,025	43,248	46,417	43,025	37,383	47,134	
⑬訪問看護	72,376	82,141	71,494	72,376	66,656	61,344	

サービス区分	収入			支出			備考
	予算	決算	R5決算	予算	決算	R5決算	
○地域包括支援センター事業	42,462	42,443	29,594	42,462	36,512	28,530	
⑭地域包括支援センター	42,462	42,443	29,594	42,462	36,512	28,530	

令和6年度 収入の状況（法人全体）

（単位：円）

勘定科目	令和6年度	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較(C)	備 考
	予算額	収入額	収入額	(C) = (A) - (B)	
会費収入	7,190,000	6,851,668	6,752,669	98,999	
一般会費	3,300,000	3,247,668	3,244,669	2,999	R5:16,223口 R6:16,238口、15口増
賛助会費	3,000,000	2,563,000	2,655,000	△ 92,000	R5: 2,655口 R6: 2,563口、92口減
特別賛助会費	800,000	930,000	755,000	175,000	R5: 151口 R6: 186口、35口増
施設・団体会費	90,000	111,000	98,000	13,000	R5: 98口 R6: 111口、13口増
寄附金収入	3,000,000	1,984,419	1,936,534	47,885	
経常経費寄附金	3,000,000	1,984,419	1,936,534	47,885	R5:一般1,204千円 指定:665千円 車いす61千円 R6:一般 681千円 指定:1,303千円
経常経費補助金収入	91,739,000	88,692,338	82,597,282	6,095,056	
市補助金	76,022,000	75,569,841	69,907,872	5,661,969	社協運営管理事業補助金66,064千円(前年比1,955千円)、地域活動支援Co3,694千円(前年比3,694千円)
県社協補助金	4,793,000	4,590,300	4,528,680	61,620	地域福祉権利擁護事業補助金
共同基金配分金収入	10,924,000	8,532,197	8,160,730	371,467	
一般基金配分金	8,761,000	6,614,055	6,500,787	113,268	子ども福祉委員73千円(前年比42千円)、多様な主体の居場所づくり1,029千円(206千円)、はじめの一步講座56千円(66千円)、子育て応援フォーラム26千円(△208千円)他
歳末たすけあい配分金	2,163,000	1,918,142	1,659,943	258,199	歳末激励金1,112千円(267千円)、ふとん丸洗い124千円(49千円減)他
受託金収入	56,155,000	54,766,667	49,434,866	5,331,801	
市受託金	41,846,000	40,471,667	36,933,281	3,538,386	高齢者サロン9,027千円(前年比2,300千円)、ファミリー・16,685千円(669千円)、生活支援体制7,911千円(241千円)、重層的生活支援体制整備10,000千円(0)他
県社協受託金	14,309,000	14,295,000	12,501,585	1,793,415	特例貸付フォローアップ12,232千円(前年比1,710千円)他
事業収入	1,630,000	1,550,400	1,484,500	65,900	
利用料	1,150,000	1,070,400	1,004,500	65,900	権利擁護862千円(前年比21千円)、備品貸出102千円(9千円)車いす車両35千円(28千円)他
広告料	480,000	480,000	480,000	0	社協だより広告料 R5:48枠 R6:48枠
介護保険事業収入	340,379,000	356,603,829	322,172,351	34,431,478	
居宅介護料	211,485,000	223,706,894	206,105,543	17,601,351	【事業ごとの延べサービス提供状況】 居宅介護支援 R5: 2,761回 R6: 2,665回 訪問介護事業 R5:12,318回 R6:13,232回
地域密着型介護料	36,859,000	40,943,454	37,706,070	3,237,384	通所介護事業 R5: 9,999名 R6:10,192名 認知症通所介護R5: 2,721名 R6: 2,739名 訪問看護(介) R5: 6,353回 R6: 7,527回
居宅介護支援介護料	36,279,000	36,082,491	37,074,139	△ 991,648	【収入の状況(単位:千円)】 居宅介護支援 R5: 37,793 R6: 36,764 訪問介護事業 R5: 46,189 R6: 52,550 通所介護事業 R5:119,697 R6:124,514 認知症通所介護R5: 39,752 R6: 42,967 訪問看護(介) R5: 49,142 R6: 56,506 計 R5:292,573 R6:313,030
介護予防・日常生活支援総合事業	2,356,000	2,841,636	2,286,489	555,147	
利用者等利用料	9,846,000	9,456,380	9,401,310	55,070	
介護職員処遇改善支援	654,000	652,723	0	652,723	国補助金
オンライン資格確認導入	429,000	429,000	0	429,000	国補助金
その他の事業	42,471,000	42,491,251	29,598,800	12,892,451	中部包括支援センター受託42,443千円(12,849千円増)他
障害福祉サービス等事業収入	10,196,000	10,112,436	10,532,375	△ 419,939	
自立支援給付費	7,180,000	7,276,508	7,064,665	211,843	【延べサービス提供状況】 居宅介護R5:1,771回 R6:1,798回 移動支援R5: 861回 R4: 701回
利用者負担金	36,000	24,928	25,410	△ 482	
その他の事業	2,980,000	2,811,000	3,442,300	△ 631,300	
医療事業収入	20,972,000	24,764,371	20,341,954	4,422,417	
訪問看護療養費(公費)	5,243,000	6,510,898	5,499,367	1,011,531	【延べサービス提供状況】 訪問看護事業(医) R5:2,130回 R4:2,612回
訪問看護療養費(一般)	15,163,000	17,473,343	14,207,050	3,266,293	
訪問看護利用料	566,000	780,130	635,537	144,593	

勘定科目	令和6年度	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較(C)	備 考
	予算額	収入額	収入額	(C) = (A) - (B)	
受取利息配当金収入	120,000	151,348	69,043	82,305	
受取利息配当金	120,000	151,348	69,043	82,305	銀行預金利息
その他の収入	3,288,000	3,179,666	10,124,084	△ 6,944,419	
受入研修費	201,000	207,800	154,300	53,500	派遣元からの謝金等
利用者等外給食費	194,000	150,840	155,880	△ 5,040	利用者以外からの給食利用料収入
雑収入	2,893,000	2,821,025	9,813,904	△ 6,992,879	退職掛金運用益分0円(5,940千円)、食材高騰対策支援交付金0円(△423千円)、感染症対応費用補償0円(△658千円)他
事業活動収入計	534,669,000	548,657,141	505,445,658	43,211,483	
施設整備等補助金収入計	0	0	0	0	
基金積立資産取崩収入	2,364,000	2,364,000	546,400	1,817,600	
守山ほたるの子基金取崩	2,364,000	2,364,000	546,400	1,817,600	ひきこもり支援事業、多世代交流の助成事業へ充当のため取崩
積立資産取崩収入	1,151,000	287,424	1,149,696	△ 862,272	
退職給付引当資産取崩	1,151,000	287,424	1,149,696	△ 862,272	嘱託職員1名分
その他の活動による収入	1,344,000	1,344,000	21,656,430	△ 20,312,430	退職手当積立基金預け金取崩収入(退職一時金1名分(掛金分))※前年度5名分
その他の活動等収入計	4,859,000	3,995,424	23,352,526	△ 19,357,102	
小計	539,528,000	552,652,565	528,798,184	23,854,381	
拠点区分間繰入金収入(内部取引)	2,500,000	2,500,000	2,500,000	0	介護等事業から運営負担分を地域福祉事業への繰入
サービス区分間繰入金収入(内部取引)	23,355,000	22,542,940	17,267,107	5,275,833	地域福祉事業12,430千円(財源を各事業へ配分) 介護等事業 10,112千円(障害福祉事業収入を 訪介護事業へ繰入)
内部取引込計	565,383,000	577,695,505	548,565,291	29,130,214	

令和6年度 支出の状況（サービス区分別）

（単位：円）

サービス区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較(C)	主な増減の内容
	支出合計	支出合計	(C)=(A)-(B)	
	内、繰入金支出	内、繰入金支出		
	内部取引消去後	内部取引消去後		
I 社会福祉事業会計	514,357,410	505,866,095	8,491,315	
(1)+(2)	25,042,940	19,767,107	5,275,833	
	489,314,470	486,098,988	3,215,482	
(1) 地域福祉事業拠点区分	177,228,440	158,373,216	18,855,224	
<①~⑦の合計>	12,430,504	8,186,107	4,244,397	
	164,797,936	150,187,109	14,610,827	
① 法人運営事業	88,011,583	86,975,041	1,036,542	会計システム更新242千円、事務所移転関係費用554千円 PC更新976千円 他
	4,278,752	5,988,319	△ 1,709,567	
	83,732,831	80,986,722	2,746,109	
② 小地域福祉活動推進事業	38,406,234	31,397,507	7,008,727	学区社協連携3,748千円、ひきこもり支援2,134千円、見守り支え合い活動706千円、地域づくり542千円、生活支援体制整備276千円
	0	0	0	
	38,406,234	31,397,507	7,008,727	
③ ボランティアセンター	16,439,707	15,735,963	703,744	はじめの一步講座56千円、広報点字版107千円、車いすお出かけ応援46千円、ボランティアグループ助成187千円、ファミサポ796千円、貸出備品118千円、広報点字(充実)108千円、子育て応援フォーラム△208千円、いきがい活動△146千円、お話し相手△128千円 他
運営事業	0	0	0	
	16,439,707	15,735,963	703,744	
④ サロン推進事業	9,030,152	6,797,394	2,232,758	ふれあいお楽しみ会1,578千円、すこやかサロン484千円 他
	0	0	0	
	9,030,152	6,797,394	2,232,758	
⑤ 福祉サービス利用援助事業	21,515,944	14,293,959	7,221,985	他サービス区分繰出5,471千円、特例貸付フォローアップ支援1,211千円、地域福祉権利擁護457千円
	5,471,000	0	5,471,000	
	16,044,944	14,293,959	1,750,985	
⑥ 善意銀行運営事業	1,394,068	2,560,564	△ 1,166,496	他のサービス区分への繰出金△1,335千円 他
	250,000	1,585,000	△ 1,335,000	
	1,144,068	975,564	168,504	
⑦ 基金運営事業	2,430,752	612,788	1,817,964	小地域福祉サービス区分への繰り出し1,817千円（ほたるの子基金）
	2,430,752	612,788	1,817,964	
	0	0	0	

(単位：円)

サービス区分等	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較(C)	主な増減の内容
	支出合計	支出合計	(C)=(A)-(B)	
	内、繰入金支出	内、繰入金支出		
	内部取引消去後	内部取引消去後		
(2) 介護等事業拠点区分 ＜⑧～⑬の合計＞	337,128,970	347,492,879	△ 10,363,909	
	12,612,436	11,581,000	1,031,436	
	324,516,534	335,911,879	△ 11,395,345	
⑧ 居宅介護支援事業	33,922,995	50,116,382	△ 16,193,387	人件費△16,108千円 他 (退職なし△13,976千円、異動△2,132千円)
	500,000	500,000	0	
	33,422,995	49,616,382	△ 16,193,387	
⑨ 訪問介護事業	62,305,631	56,847,081	5,458,550	人件費4,569千円(正規1育休復帰)他
	500,000	500,000	0	
	61,805,631	56,347,081	5,458,550	
⑩ 障害者自立支援事業	10,112,436	9,081,000	1,031,436	訪問介護事業へ繰出し1,031千円
	10,112,436	9,081,000	1,031,436	
	0	0	0	
⑪ 通所介護事業	126,748,992	122,969,951	3,779,041	事務費2,098千円増(修繕、業務委託)、 人件費1,022千円増他
	500,000	500,000	0	
	126,248,992	122,469,951	3,779,041	
⑫ 認知症通所介護事業	37,382,622	47,134,296	△ 9,751,674	人件費△9,925千円(退職なし)
	500,000	500,000	0	
	36,882,622	46,634,296	△ 9,751,674	
⑬ 訪問看護事業	66,656,294	61,344,169	5,312,125	人件費7,069千円(正規1増) R5積立金△5,000千円
	500,000	500,000	0	
	66,156,294	60,844,169	5,312,125	
Ⅱ 公益事業会計	36,511,834	28,529,592	7,982,242	
	0	0	0	
	36,511,834	28,529,592	7,982,242	
(3) 地域包括支援センター 事業拠点区分	36,511,834	28,529,592	7,982,242	
	0	0	0	
	36,511,834	28,529,592	7,982,242	
⑭ 地域包括支援 センター事業	36,511,834	28,529,592	7,982,242	人件費7,303千円(嘱託+2)
	0	0	0	
	36,511,834	28,529,592	7,982,242	
法人合計(Ⅰ+Ⅱ)	550,869,244	534,395,687	16,473,557	
	25,042,940	19,767,107	5,275,833	
	525,826,304	514,628,580	11,197,724	

令和6年度 支出の状況（内訳）

① 法人運営事業サービス区分

（単位：円）

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	法人全体の事務費	1,256,000	1,112,415	89%	143,585	267,780	844,635	会計・給与システム保守、勤怠システムライセンス料等
2	経営会議	1,167,000	960,000	82%	207,000	961,000	△ 1,000	会長、副会長、顧問報酬
3	理事会・評議員会・経営会議の開催	485,000	262,283	54%	222,717	261,632	651	理事会(2回/年)、評議員会(2回/年)、監査(1回/年)、経営会議(1回/月)、第三者委員会(1回/年)
4	職員研修	341,000	95,440	28%	245,560	162,411	△ 66,971	人権研修、管理職研修、オンライン研修など
5	県社協会費	610,000	619,000	101%	△ 9,000	593,000	26,000	滋賀県社協会費、滋賀の縁創造実践センター会費
6	社協運営管理事業	71,421,000	71,899,851	101%	△ 478,851	68,948,324	2,951,527	人件費、福利費、退職手当積立、退職給付等
7	事務局運営事務費	6,764,000	4,209,299	62%	2,554,701	3,964,670	244,629	事務消耗品費、印刷製本費、複合機等リース料、事務所移転経費、PC入替など
8	会員加入促進	1,959,000	574,826	29%	1,384,174	730,336	△ 155,510	会費使途チラシ、特別賛助会員シール、臨時職員人件費等
9	会用车維持経費	1,039,000	680,345	65%	358,655	643,358	36,987	会用车3台の任意保険、タイヤ交換などの維持費、オイル交換などの修繕費、ガソリン代
10	予算書決算書の印刷	180,000	165,000	92%	15,000	154,000	11,000	R5度事業報告・決算書作成 100部 A4版・175頁 R6度事業計画・予算書作成 200部 A4版・75頁
11	戦没者追悼事業助成	301,000	300,000	100%	1,000	300,000	0	遺族会主催事業へ助成
12	社協ほっとのホット福祉大賞	664,000	427,887	64%	236,113	469,048	△ 41,161	応募数181名・407点(川柳部門279点、写真部門128点)、入賞作品ポスター100枚作成。市内各所において掲示。
13	社協だよりの作成	2,431,000	1,181,485	49%	1,249,515	1,380,163	△ 198,678	広報作成、仕分け業務
14	ホームページ・SNS	253,000	253,000	100%	0	150,000	103,000	保守料
15	アドバイザー設置	1,196,000	992,000	83%	204,000	1,136,000	△ 144,000	会計アドバイザー、顧問社労士、産業医
16	経営安定化積立金	0	0	-	0	865,000	△ 865,000	R6積立なし
17	他サービス区分への繰出金	4,777,000	4,278,752	90%	2,150,067	5,988,319	△ 1,709,567	小地域へ4,195,130 ボランティアセンターへ83,622
18	予備費	1,000,000	0	0%	1,000,000	0	0	執行なし
	合計	95,844,000	88,011,583	92%	7,832,417	86,975,041	1,036,542	

② 小地域福祉活動推進事業サービス区分

(単位:円)

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	学区社協活動助成	4,249,000	4,185,480	99%	63,520	4,239,830	△ 54,350	・各学区10万円＋自治会数×1万円 ・前年度一般会費納入世帯数×90円 ・前年度賛助会費納入額×1/2
2	地域福祉推進員活動事業	1,017,000	54,000	5%	963,000	922,000	△ 868,000	・各学区に地域福祉推進員1名を配置 (福祉サービス利用援助地区にて869千円支出)
3	福祉協力員活動事業	1,525,000	1,332,150	87%	192,850	1,266,600	65,550	・福祉協力員の設置(249人) ・各学区へ活動費助成(一人あたり5,000円)
4	学区社協連携事業	4,115,000	3,765,511	92%	349,489	17,136	3,748,375	・地域活動支援コーディネーター1名を配置 ・学区社協・市社協事務局会議を毎月開催 ・学区社協連絡会議を2回開催 ・各学区で学区社協理事・市社協懇談会を開催
5	見守り支え合い活動助成	2,745,000	2,822,200	103%	△ 77,200	2,116,000	706,200	42自治会、5学区社協
6	自治会健康福祉部会設置・活動充実強化	900,000	810,000	90%	90,000	630,000	180,000	29自治会
7	生活支援体制整備事業	8,748,000	7,945,936	91%	802,064	7,670,144	275,792	第1層(市域)と第2層(学区)協議体に生活支援コーディネーターを各1名配置
8	ふとん丸洗いサービス	243,000	125,375	52%	117,625	174,510	△ 49,135	要介護3以上の高齢者等、利用26人
9	地域福祉活動推進委員会(活動計画)	184,000	0	0%	184,000	50,540	△ 50,540	実施なし
10	学区担当職員研修	216,000	119,637	55%	96,363	67,500	52,137	各学区民児協研修等
11	学区課題解決助成	350,000	350,000	100%	0	350,000	0	5万円×7学区社協
12	学区歳末事業助成	350,000	350,000	100%	0	350,000	0	5万円×7学区社協
13	地域づくり事業	10,452,000	10,058,070	96%	393,930	9,515,699	542,371	・見守り協定(新規登録3件、合計23件) ・何でも相談(48件)
14	歳末たすけあい激励金	1,170,000	1,111,625	95%	58,375	841,707	269,918	86世帯860,000円、フードパントリー
15	ひきこもり支援事業	3,032,000	2,350,490	78%	681,510	216,400	2,134,090	・ひきこもり実態調査 ・守山ほたるサポート事業 ・ひきこもりサポーター養成連続講座 ・専門家によるひきこもり相談 ・湖南地域ひきこもり者支援フォーラム
16	福祉事業所連携協働事業	170,000	0	0%	170,000	0	0	実施なし
17	地域共生大会	598,000	272,350	46%	325,650	279,880	△ 7,530	・表彰式 社会福祉功労27件、育成功労4件、感謝4件、社協ほっと♡ホット福祉大賞28件 ・福祉活動推進校の発表 ・講演ライブ 手話シンガーソングライター yokko氏 ・ヨガ体験 ・展示コーナー ・障害者福祉施設の物品販売 など
18	子ども食堂実践者交流	35,000	35,000	100%	0	0	35,000	交流・情報交換会を2回開催
19	多世代交流サロン助成	600,000	480,000	80%	120,000	330,000	150,000	15自治会、1学区社協
20	多様な主体による居場所づくり	1,300,000	1,229,386	95%	70,614	1,023,873	205,513	・「ほたるの広場」毎週火曜日 ・「ほたる農園」月3回木曜日 ・地域福祉活動センター(コミュハウス・ほたる)利用貸出
21	子ども福祉委員事業	150,000	72,674	48%	77,326	30,369	42,305	中学生参加10名
22	学区民児協による緊急一時資金の貸付	440,000	10,000	2%	430,000	15,000	△ 5,000	10件、計157,000円
23	社協だより全戸配布にかかる学区交付金	944,000	926,350	98%	17,650	923,250	3,100	各学区22,300円＋全戸配付数×25円
24	前期末支払資金残高等による支出調整	0	0	-	0	367,069	△ 367,069	
	合計	43,533,000	38,406,234	88%	5,126,766	31,397,507	7,008,727	

③ ボランティアセンター運営事業サービス区分

(単位:円)

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	ボランティアセンター運営事業	318,000	127,121	40%	190,879	145,445	△ 18,324	ボランティア需給調整203件、登録数:団体64・個人16、保険加入受付(286件)、ボランティア連協へ助成
2	ボランティアセンター登録グループ助成	600,000	589,837	98%	10,163	403,417	186,420	ボランティアグループ(45団体)
3	広報点字版発行業務	332,000	296,363	89%	35,637	189,299	107,064	市広報誌(毎月2回発行)と市協広報誌(年4回発行)、利用者5名、ボランティア(点訳きらら)4名
4	お話し相手ボランティア派遣事業	3,637,000	3,404,556	94%	232,444	3,531,869	△ 127,313	在宅派遣延655名、会員研修(2回)、ふりかえりの会(3回)、養成講座開催(10名登録)、V登録者43名
5	ファミリー・サポート・センター事業	6,685,000	6,405,313	96%	279,687	5,610,125	795,188	アドバイザー2名、会員763名、援助活動2,270回、子育て応援フォーラム開催(2/8)
6	福祉有償運送事業	1,044,000	617,880	59%	426,120	713,190	△ 95,310	利用登録15名、ボランティア9名、運行142回
7	いきがい活動ポイント事業	2,979,000	2,775,474	93%	203,526	2,920,864	△ 145,390	ボランティア活動登録者214名・老人クラブ1か所、受入登録施設59、活動2,937件、交付スタンプ4,094個
8	いきいき活動応援事業	30,000	0	0%	30,000	40,758	△ 40,758	隔月の情報交換会開催、国スポリハーサルV協力
9	災害ボランティアセンター体制整備	244,000	99,445	41%	144,555	95,302	4,143	災害ボランティアセンター設置運営訓練、備品整備
10	キャップリサイクル事業	150,000	88,896	59%	61,104	93,849	△ 4,953	ペットボトルキャップ回収4,284kg
11	車いすお出かけ応援事業	336,000	119,718	36%	216,282	73,382	46,336	利用者24名、延べ貸出件数116件、自動車任意保険加入
12	生活支援ボランティア活動	121,000	75,251	62%	45,749	42,479	32,772	相談件数22件、活動件数36件、延べ活動者数41名
13	福祉活動推進校設置事業	700,000	470,168	67%	229,832	494,565	△ 24,397	市内小中学校に呼びかけ推進校として指定(小学校6、中学校2)
14	備品貸出事業	315,000	201,384	64%	113,616	83,613	117,771	イベント機器の新調等、イベント機器利用累計(109件)
15	ひとり暮らし高齢者年賀状送付	200,000	131,142	66%	68,858	93,726	37,416	1,389名、小学生・赤十字奉仕団・民生委員の協力のもと実施
16	自治会子育てサロン	1,100,000	838,160	76%	261,840	913,214	△ 75,054	自治会35、学区社協1
17	子育て応援フォーラム	300,000	26,307	9%	273,693	234,092	△ 207,785	市内子育て支援団体と子育て世帯が多様な居場所づくりにつながる機会づくりを図った ※主に市委託料で執行
18	社協だより配送	318,000	116,452	37%	201,548	56,774	59,678	年4回全自治会指定場所に広報紙を配送(シルバー人材センター派遣)
19	Vはじめの一歩講座	80,000	56,240	70%	23,760	0	56,240	2テーマ(コーヒー淹れ方、ケアマフ作り)の講座を開催。受講後、ボランティア活動につなげた
	合計	19,489,000	16,439,707	84%	3,049,293	15,735,963	703,744	

④ サロン推進事業サービス区分

(単位:円)

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	すこやかサロン	5,475,000	4,967,908	91%	507,092	4,483,913	483,995	4学区・13回、68自治会・1,270回
2	ふれあいお楽しみ会	2,450,000	2,455,010	100%	△ 5,010	877,000	1,578,010	7学区・8回
3	在宅介護者のつどい	362,000	388,000	107%	△ 26,000	349,000	39,000	6学区・6回、3自治会・5回
4	サロンボランティア活動講座	120,000	100,000	83%	20,000	110,000	△ 10,000	6学区・10回
5	助成金交付事務等	1,329,000	1,119,234	84%	209,766	977,481	141,753	人件費、事務諸経費、納税消費税
	合計	9,736,000	9,030,152	93%	705,848	6,797,394	2,232,758	

⑤ 福祉サービス利用援助事業サービス区分

(単位:円)

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	地域福祉権利擁護事業	2,134,000	1,748,897	82%	385,103	1,292,374	456,523	専門員3名、生活支援員7名 契約61名(R7.3末時点)、相談支援3,549件
2	生活福祉資金貸付事業	583,000	571,000	98%	12,000	566,000	5,000	民生委員費用弁償444千円
3	相談体制整備	1,494,000	1,492,000	100%	2,000	1,414,000	78,000	担当職員1名配置 相談:緊急小口26件、福祉費4件、教育支援20件
4	特別貸付事業フォローアップ支援	12,232,000	12,233,047	100%	△ 1,047	11,021,585	1,211,462	担当職員1名配置 コロナ特別貸付利用者へのフォローアップ支援 相談対応247件 フードパントリーを3回実施
5	他サービス区分へ繰出	5,471,000	5,471,000	100%	0	0	5,471,000	法人運営事業サービス区分2,476千円 小地域福祉活動サービス区分2,995千円
	合計	21,914,000	21,515,944	98%	398,056	14,293,959	7,221,985	

⑥ 善意銀行運営事業サービス区分

(単位:円)

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	事務費	90,000	45,685	51%	44,315	54,586	△ 8,901	
2	お米支援事業	1,120,000	386,400	35%	733,600		386,400	フードパントリー配付用お米購入
2	指定払出	2,000,000	290,850	15%	1,709,150	665,978	△ 375,128	寄附者の意向により払い出し(17件)
3	物品寄附金換算	1,000,000	0	0%	1,000,000	61,600	△ 61,600	
4	災害見舞金贈呈	100,000	0	0%	100,000	50,000	△ 50,000	
5	大会出場者激励金贈呈	30,000	16,000	53%	14,000	14,000	2,000	ねんりんピック出場者激励金(8名)
6	守山学園卒園小学校入学祝品贈呈	51,000	43,450	85%	7,550	21,150	22,300	卒園者に印鑑セット、小学校入学者にリュック(計5名)
7	生活困窮者支援	500,000	11,683	2%	488,317	108,250	△ 96,567	生活困窮者支援事業用食料購入
8	チャレンジ応援事業	1,000,000	350,000	35%	650,000	0	350,000	1団体上限5万円×7団体
9	他サービス区分へ繰出	480,000	250,000	52%	230,000	1,585,000	△ 1,335,000	法人サ区へ240,000円(社協だより善銀コーナー掲載分) 小地域サ区へ10,000円(学区民児協貸付分)
	合計	6,371,000	1,394,068	22%	4,976,932	2,560,564	△ 1,166,496	

⑦ 基金運営事業サービス区分

(単位:円)

No.	事業名等	R5 予算額 (ア)	R5 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	他サービス区分繰入金支出	2,431,000	2,430,752	100%	248	612,788	1,817,964	小地域サービス区分に2,416,741円(福祉基金52,741円、ほたるの子基金2,364,000円)、ボランティアサービス区分に14,011円(ボランティア基金)
2	基金積立金支出他	1,000	0	0%	1,000	0	0	執行なし
	合計	2,432,000	2,430,752	100%	1,248	612,788	1,817,964	
令和7年3月末基金残高 福祉基金105,194,115円、 ボランティア基金57,063,418円、 中村一彦・鈴子ほたるの子基金 2,734,901円								

⑧ 居宅介護支援事業サービス区分

No.	事業名等	R6 予算額 (7)	R6 決算額 (1)	執行率	増減 (予算比) (7)-(1)	R5 決算額 (1)	増減 (決算比) (1)-(ウ)	事業の内容等
1	人件費	33,655,000	28,318,710	84%	5,336,290	44,427,166	△ 16,108,456	R5:正規4名、嘱託1名、非常勤1名 R6:正規3名、再雇用1名、嘱託1名R6:退職なし
2	事業費	1,304,000	964,826	74%	339,174	1,127,263	△ 162,437	水道光熱費、消耗器具備品費(スチール収納他)、賃借料(会車他)、車両費(燃料費)他
3	事務費	2,840,000	2,179,946	77%	660,054	1,747,612	432,334	通信運搬費(電話代)、賃借料(会車リース)、保険料(会車他)、業務委託(産業医・設備・廃棄物等)他
4	支払利息	36,000	34,740	97%	1,260	34,740	0	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リースの利息
5	雑支出	68,000	68,640	101%	△ 640	0	68,640	退職手当積立基金預け金差損
6	ファイナンス・リース債務返済	415,000	413,448	100%	1,552	413,451	△ 3	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リース料
7	積立資産支出	78,000	62,325	80%	15,675	73,950	△ 11,625	令和6年度末積立計:972,600円
8	拠点区分間繰入金支出	500,000	500,000	100%	0	500,000	0	法人運営事業サービス区分へ
9	その他の活動による支出	1,763,000	1,380,360	78%	382,640	1,792,200	△ 411,840	退職手当積立基金預け金
10	予備費支出	372,000	0	0%	372,000	0	0	執行なし
	合計	41,031,000	33,922,995	83%	7,108,005	50,116,382	△ 16,193,387	

⑨ 訪問介護事業サービス区分

No.	事業名等	R6 予算額 (7)	R6 決算額 (1)	執行率	増減 (予算比) (7)-(1)	R5 決算額 (1)	増減 (決算比) (1)-(ウ)	事業の内容等
1	人件費	54,537,000	53,507,394	98%	1,029,606	48,937,990	4,569,404	R5:正規6名(内育休1)、再雇用1名、嘱託2名、非常勤5名 R6:正規6名、再雇用1名、嘱託2名、非常勤5名
2	事業費	2,900,000	2,527,708	87%	372,292	2,258,507	269,201	水道光熱費、消耗器具備品費(アルコールチェッカー他)、賃借料(会車他)、車両費(燃料費)他
3	事務費	3,056,000	2,570,369	84%	485,631	1,886,659	683,710	保険料(会車他)、業務委託(産業医・設備・廃棄物等)、手数料(振込・代金回収等)他
4	支払利息	27,000	26,400	98%	600	26,400	0	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リースの利息
5	ファイナンス・リース債務返済	255,000	254,220	100%	780	254,225	△ 5	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リース料
6	積立資産支出	186,000	185,700	100%	300	168,750	16,950	令和6年度末積立計1,828,568円
7	拠点区分間繰入金支出	500,000	500,000	100%	0	500,000	0	法人運営事業サービス区分へ
8	その他の活動による支出	2,791,000	2,733,840	98%	57,160	2,814,550	△ 80,710	退職手当積立基金預け金
9	予備費支出	581,000	0	0%	581,000	0	0	執行なし
	合計	64,833,000	62,305,631	96%	2,527,369	56,847,081	5,458,550	

⑩ 障害者自立支援事業サービス区分

No.	事業名等	R6 予算額 (7)	R6 決算額 (1)	執行率	増減 (予算比) (7)-(1)	R5 決算額 (1)	増減 (決算比) (1)-(ウ)	事業の内容等
1	サービス区分間繰入金支出	10,196,000	10,112,436	99%	83,564	9,081,000	1,031,436	事業収入を訪問介護サービス区分に繰り出し
	合計	10,196,000	10,112,436	99%	83,564	9,081,000	1,031,436	

⑪ 通所介護事業サービス区分

(単位:円)

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	人件費	104,709,000	97,413,530	93%	7,295,470	96,390,884	1,022,646	R5:正規7名、再雇用1名、嘱託3名、非常勤20名 R6:正規7名、再雇用1名、嘱託2名、非常勤21名
2	事業費	18,640,000	15,313,944	82%	3,326,056	14,837,024	476,920	給食費、水道光熱費、賃借料(会用车他)、車両費(燃料費)他
3	事務費	9,453,000	8,327,369	88%	1,125,631	6,228,765	2,098,604	保険料(会用车他)、業務委託(産業医・設備・廃棄物等)、保守料(設備メンテナンス)、手数料(振込・代金回収等)他
4	支払利息	269,000	267,924	100%	1,076	267,924	0	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リースの利息
5	固定資産取得支出	300,000	218,790	73%	81,210	0	218,790	PC購入
6	ファイナンス・リース債務返済	1,339,000	1,338,660	100%	340	1,338,654	6	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リース料
7	積立資産支出	398,000	370,575	93%	27,425	374,700	△ 4,125	令和6年度末積立計:7,970,075円
8	拠点区分間繰入金	500,000	500,000	100%	0	500,000	0	法人運営事業サービス区分
9	その他の活動による支出	3,070,000	2,998,200	98%	71,800	3,032,000	△ 33,800	退職手当積立基金預け金
10	予備費支出	1,232,000	0	0%	1,232,000	0	0	執行なし
	合計	139,910,000	126,748,992	91%	13,161,008	122,969,951	3,779,041	

⑫ 認知症対応型通所介護事業サービス区分

(単位:円)

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	人件費	30,980,000	27,369,977	88%	3,610,023	37,295,183	△ 9,925,206	R5:正規3名、嘱託1名、非常勤4名 R6:正規2名、嘱託1名、非常勤3名 R6退職者なし
2	事業費	6,109,000	5,060,049	83%	1,048,951	5,021,012	39,037	給食費、水道光熱費、賃借料(会用车他)、車両費(燃料費)他
3	事務費	3,678,000	3,138,956	85%	539,044	2,168,767	970,189	保険料(会用车他)、業務委託(産業医・設備・廃棄物等)、事務消耗品、手数料(振込・代金回収等)他
4	支払利息	76,000	75,312	99%	688	75,312	0	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リースの利息
5	その他の支出	0	0	-	0	130,310	△ 130,310	退職手当積立金預け金差損
6	ファイナンス・リース債務返済	411,000	410,568	100%	432	410,562	6	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リース料
7	積立資産支出	105,000	88,200	84%	16,800	102,150	△ 13,950	令和6年度末積立計873,576円
8	拠点区分間繰入金支出	500,000	500,000	100%	0	500,000	0	法人運営事業サービス区分へ
9	その他の活動による支出	775,000	739,560	95%	35,440	1,431,000	△ 691,440	退職手当積立基金預け金
10	予備費支出	391,000	0	0%	391,000	0	0	執行なし
	合計	43,025,000	37,382,622	87%	5,642,378	47,134,296	△ 9,751,674	

⑬ 訪問看護事業サービス区分

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	人件費	57,245,000	55,062,664	96%	2,182,336	47,992,857	7,069,807	R5:正規7名、非常勤2名 R6:正規8名、非常勤2名
2	事業費	2,773,000	2,390,077	86%	382,923	2,172,879	217,198	賃借料(会車他)、車両費(燃料費他)、水道光熱費他
3	事務費	4,714,000	4,361,643	93%	352,357	2,535,899	1,825,744	保険料(会車他)、業務委託(産業医・設備・廃棄物等)、手数料(振込・代金回収等)他
4	支払利息	30,000	29,184	97%	816	29,184	0	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リースの利息
5	その他の支出	0	0	-	0	105,210	△ 105,210	R6退職者なし
6	固定資産取得支出	938,000	937,530	100%	470	307,300	630,230	オンライン資格導入システム関連備品 PC
7	ファイナンス・リース債務返済	308,000	307,296	100%	704	307,300	△ 4	空調機器リース料、介護ソフト(ワイズマン)リース料、空調・給湯・照明・濾過設備工事リース料
8	積立資産支出	188,000	171,300	91%	16,700	5,150,600	△ 4,979,300	令和6年度末積立計6,032,930円
9	拠点区分繰入金	500,000	500,000	100%	0	500,000	0	法人運営事業サービス区分へ
10	その他の活動による支出	2,998,000	2,896,600	97%	99,400	2,550,240	346,360	退職手当積立基金預け金
11	予備費支出	713,000	0	0%	713,000	0	0	執行なし
	合計	70,405,000	66,656,294	95%	3,748,706	61,651,469	5,004,825	

⑭ 地域包括支援センター事業サービス区分

No.	事業名等	R6 予算額 (ア)	R6 決算額 (イ)	執行率	増減 (予算比) (ア)-(イ)	R5 決算額 (イ)	増減 (決算比) (イ)-(ウ)	事業の内容等
1	人件費	36,364,000	32,895,110	90%	3,468,890	25,591,022	7,303,288	正規2名、嘱託5名(うち1名臨時R6.7~R7.1)
2	事業費	810,000	129,354	16%	680,646	46,291	83,063	消耗器具備品、車両費、諸謝金 他
3	事務費	3,665,000	2,024,642	55%	1,640,358	1,589,623	435,019	賃借料、通信運搬費、事務消耗品費 他
4	積立資産支出	719,000	574,848	80%	144,152	431,136	143,712	退職給付引当
5	その他の活動による支出	904,000	887,880	98%	16,120	870,720	17,160	退職手当積立基金預け金
	合計	42,462,000	36,511,834	86%	5,950,166	28,529,592	7,982,242	

監査報告書

令和7年5月29日

社会福祉法人 守山市社会福祉協議会

会長 川那辺 守雄 様

監事

南 井 哲



監事

今 井 剛



私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1)実施日時： 令和7年5月29日（木） 9時30分～11時55分
- (2)実施場所： 守山市福祉保健センター2階 ミーティングルーム
- (3)立会人等： 川那辺守雄 則本和弘 遠藤和弘 小島健史 井上英人
内藤友哉 東出雅文 山口 勉 宮西義彦 田中晶子

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

